

2025年度まちづくりネットモニター第7回調査結果 テーマ「郡山市の上下水道について」



郡山市の上下水道事業について、水道水、料金、施設整備状況等に関する市民の皆さまのニーズを把握し、効率的な経営の実現及びお客様サービス向上等の参考とするため、アンケートを実施いたしましたので、その結果についてお知らせします。

(上下水道局経営戦略課)

【調査概要】

○調査期間	2025年8月6日(水)～8月15日(金) 10日間
○モニター数	427名 (男性185名 女性241名 不明1名)
○回答者数	380名 (男性164名 女性215名 不明1名)
○回答率	89.0%

【分析】

《回答者内訳（人）》

年代	10代・20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	全体
男性	7	12	28	40	37	26	14	164
女性	11	29	62	63	40	9	1	215
不明	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	19	41	90	103	77	35	15	380

《第1章 郡山市の水道水について》

- ・水道水に対して最も重視するものとしては、全体の77.1%が「安全性」と回答。（問1）
- ・水道水の放射性物質モニタリング検査について、今後も継続を望む方は85.0%であった。（問3）
⇒2024年度の調査と比較して2.6ポイント減少しているが、依然として高い数値で推移している。

《第2章 料金等について》

- ・郡山市の水道料金について、「適正」と回答した方が2021年度の調査と比較して7.4ポイント増加しており、料金の使い道などの周知の成果と思われる。（問5）
- ・郡山市の下水道使用料について、近年は「高い」又は「やや高い」と回答した方が約6割で推移しているため、使用料の算定方法や使い道について広く周知していく必要がある。（問6）

《第3章 せせらぎこみちについて》

- ・せせらぎこみちについて、全体の62.1%が「利用したことがある」と回答。その内、せせらぎ水路について、水の流れを望む回答は56.8%（全体の35.3%）。（問10、問12）
- ・せせらぎ水路の維持費を踏まえた今後の在り方では、「水を流さない」と「歩道にする」の回答が全体の60.5%であり、近年増加傾向である。（問13）

《第4章 上下水道事業の情報発信について》

- ・水道事業及び下水道事業の情報について、受け取りやすく親しみやすいお知らせの方法として、全体の85.8%の方が「広報こおりやま（紙）」と回答。（問14）
- ・上下水道事業で参加したいと思うものについて、「施設の見学会」が58.4%と最も多かった。次いで「独自のモニター制度」が33.2%、「親子で参加できるイベント」が22.9%という結果であった。（問16）

【考察】

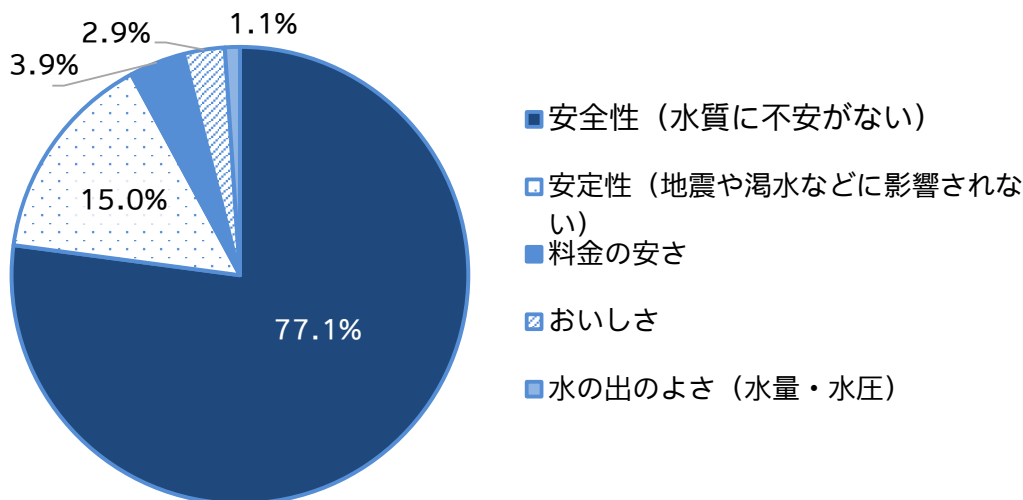
- ・水道水の「安全性」について市民の皆さまの関心度が高いことや、放射性物質モニタリング検査の継続要望が高いことを鑑みて「安全性」を確保することが重要である。
- ・水道料金及び下水道使用料について高いと回答する割合が高いため、金額の算定方法、老朽化施設の更新等料金の使い道、他の自治体との比較等についてPRしていく必要がある。
- ・上下水道事業の情報発信について、紙の「広報こおりやま」が親しみやすい方法であるが、郡山市公式SNSや上下水道局ウェブサイト等の電子媒体を活用するなど、市民のニーズに応じた今後の広報の在り方について検討する必要がある。

※割合（％）は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100％にならない場合があります。
 ※回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、すべての比率を合計すると100％を超えることがあります。

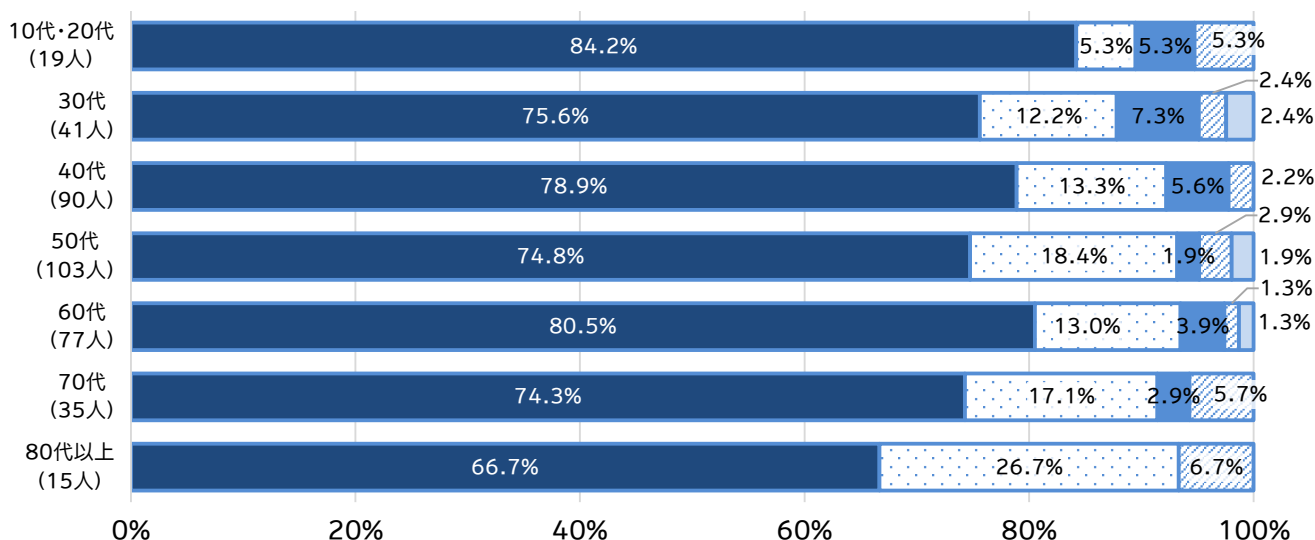
第1章 郡山市の水道水について

問1 水道水に対して最も重視するものは何ですか？（1つ選択）

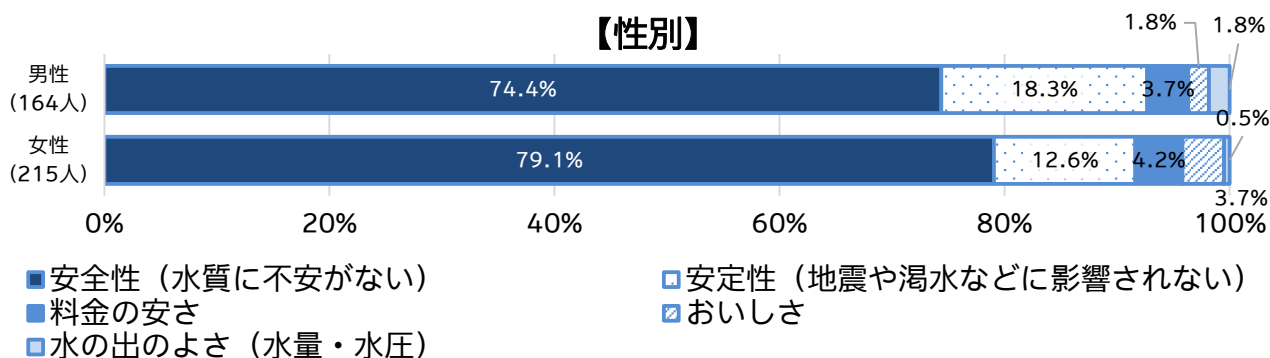
（回答者：380人）



【年代別】



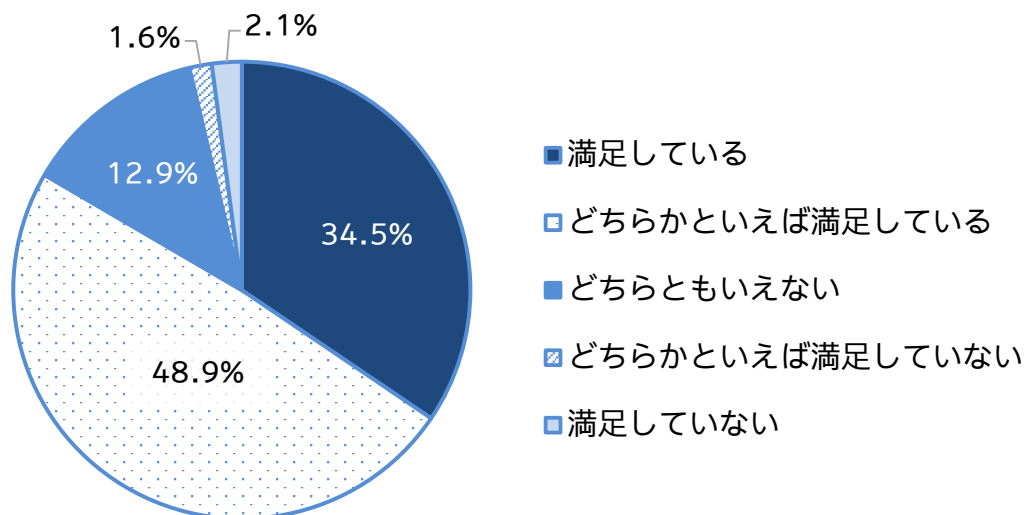
【性別】



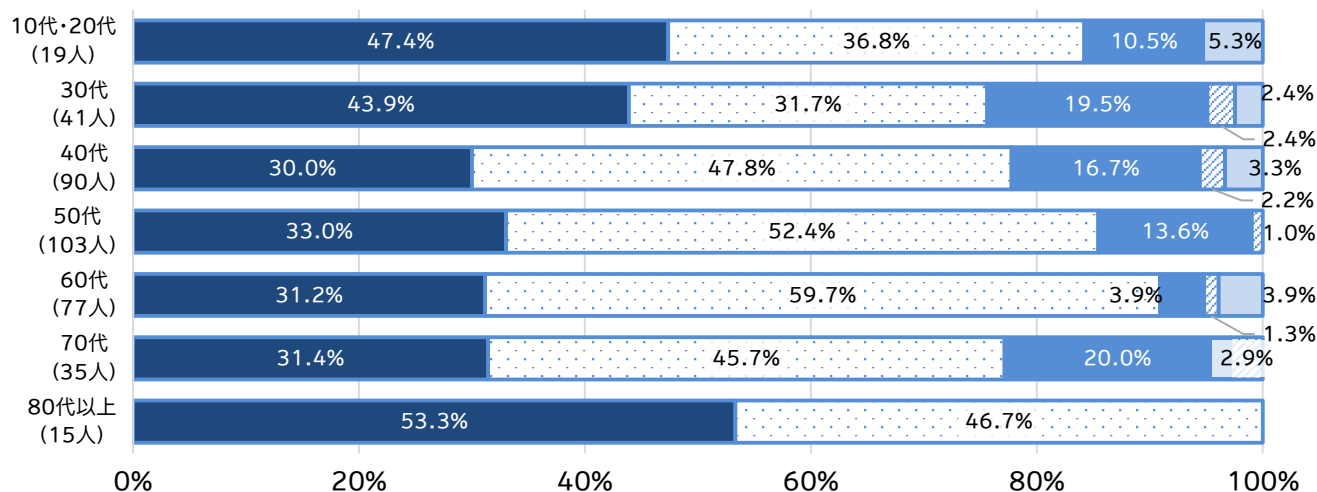
水道水について、最も重視するものは「安全性（77.1%）」となっている。
 年代別でも、全年代を通じて「安全性」、「安定性」を重視する割合が高い。

問2 問1で選んだものについて、現在満足していますか？（1つ選択）

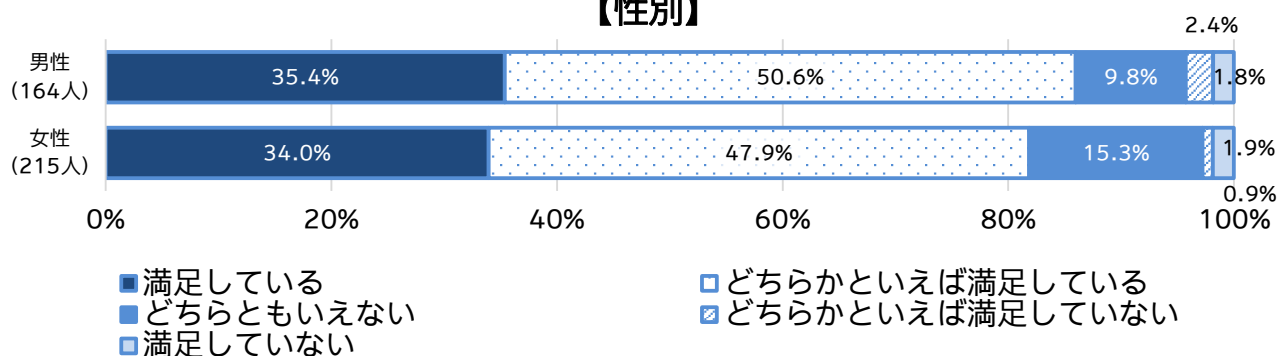
（回答者：380人）



【年代別】



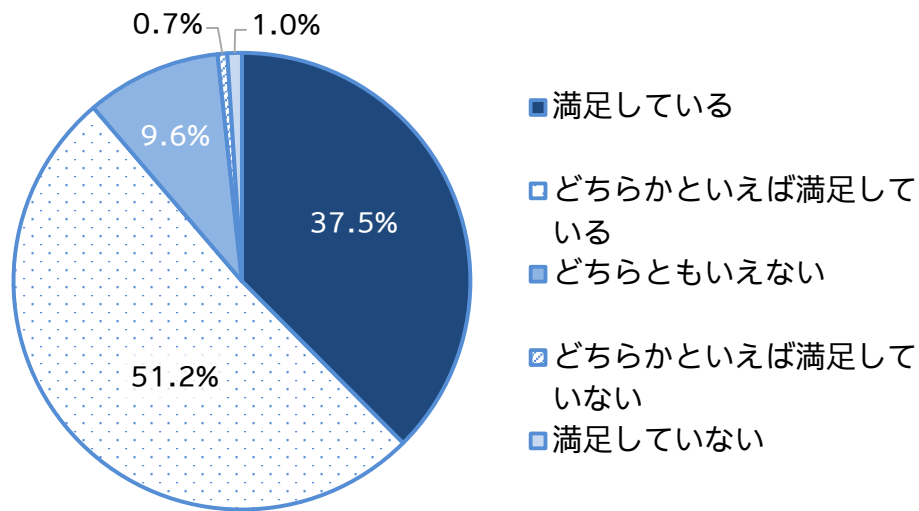
【性別】



問1で選んだものについて、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した方は、全体の83.4%であり、「どちらかといえば満足していない」、「満足していない」と回答した方は全体の3.7%であったことから、全体的に満足度が高い傾向が見受けられた。

<参考> 問1で最も選択する方が多かった「安全性」についての満足度

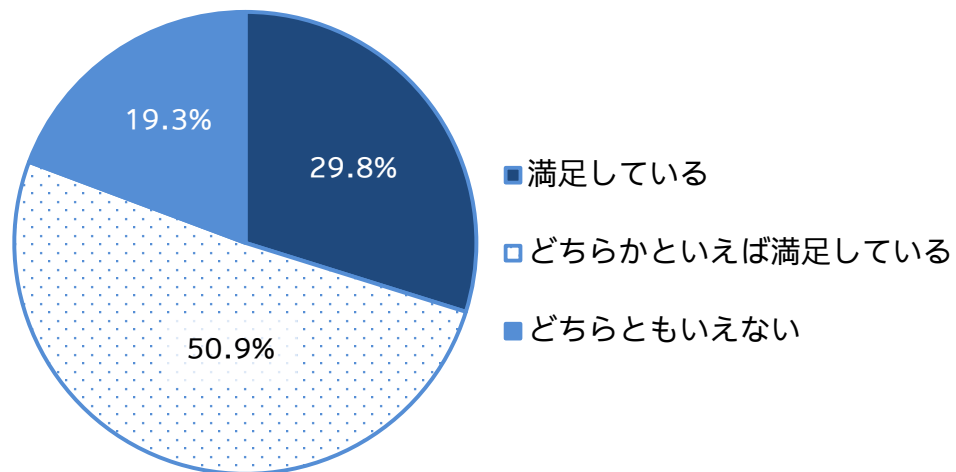
(回答者：293人)



問1で「安全性」を最も重視すると回答した方のうち、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した方の割合は88.7%、「どちらかといえば満足していない」、「満足していない」と回答した方の割合は1.7%で、水道水の供給の「安全性」については満足度が高い傾向が見られた。

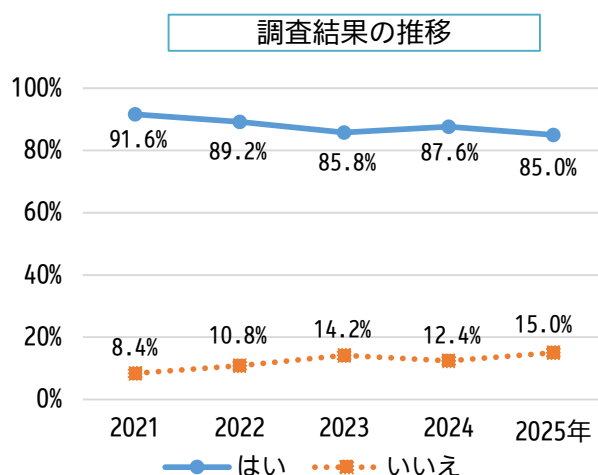
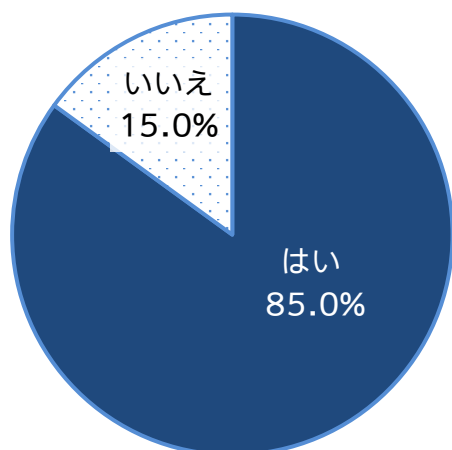
<参考> 問1で2番目に選択する方が多かった「安定性」についての満足度

(回答者：57人)

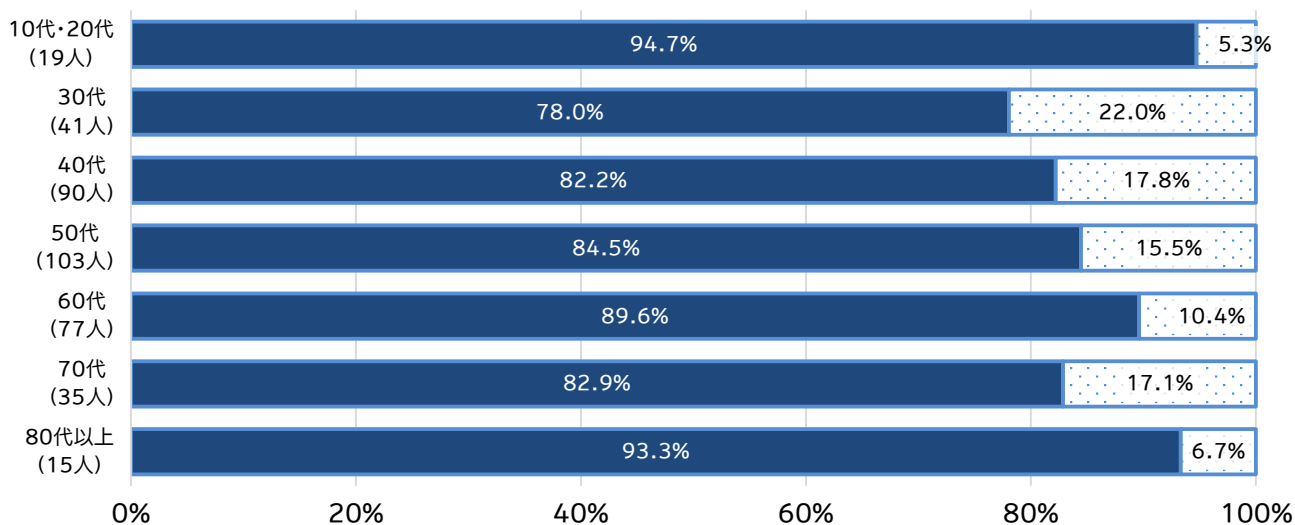


問1で「安定性」を最も重視すると回答した方のうち、「満足している」、「どちらかといえば満足している」と回答した方の割合は80.7%、「どちらかといえば満足していない」、「満足していない」と回答した方がいないことから、水道水の供給の「安定性」については満足度が高い傾向が見受けられた。

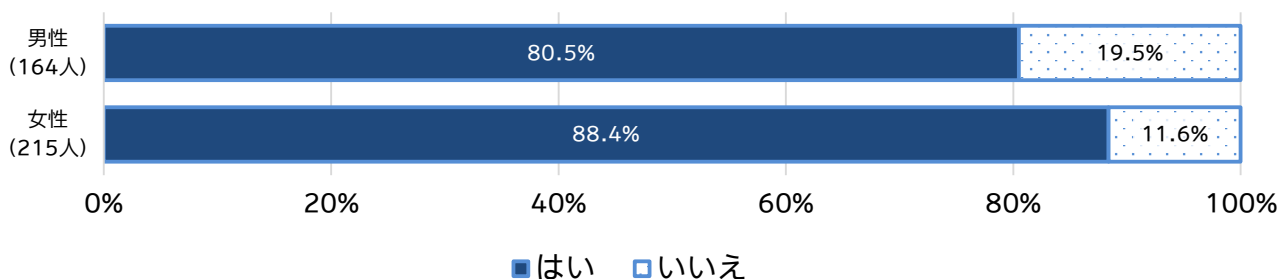
問3 安全・安心な水道水を供給するため、水道水の放射性物質のモニタリング検査を実施していますが、今後も継続した方が良いと思いますか？（1つ選択）
（回答者：380人）



【年代別】



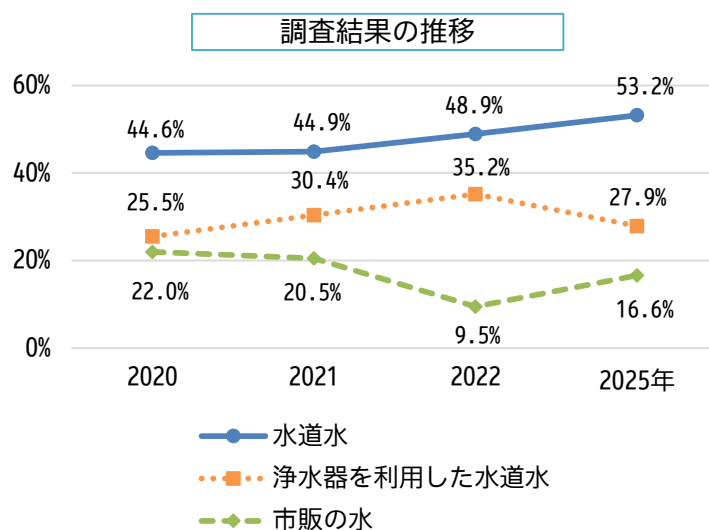
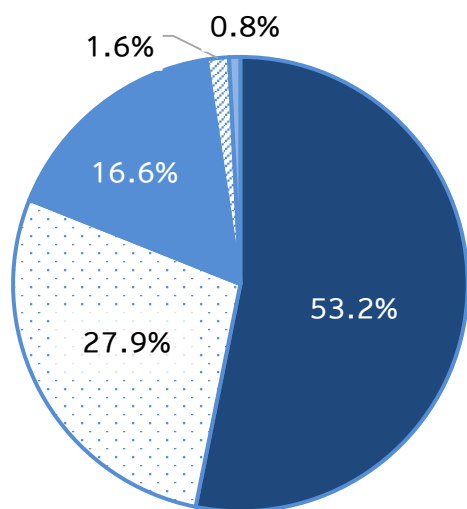
【性別】



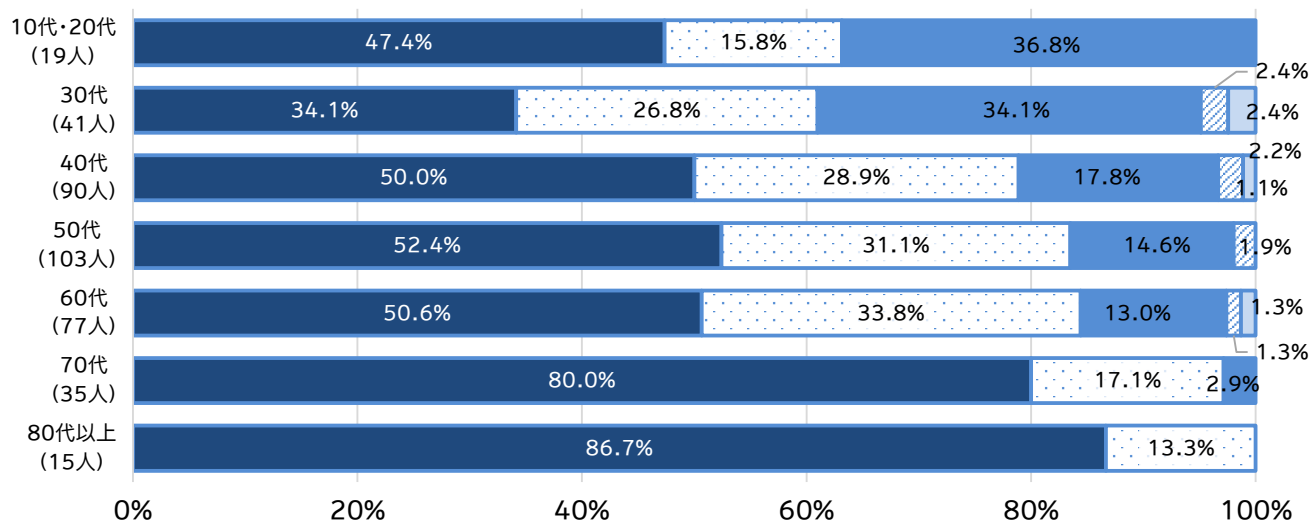
水道水の放射性物質のモニタリング検査を継続した方がよいと回答した方は85.0%であった。
継続した方がよいと回答した方が年々減少しているが、依然として8割以上の方がモニタリング検査の継続を望んでいる。

問4 ご家庭での主な飲み水は次のうちどれですか？（1つ選択）

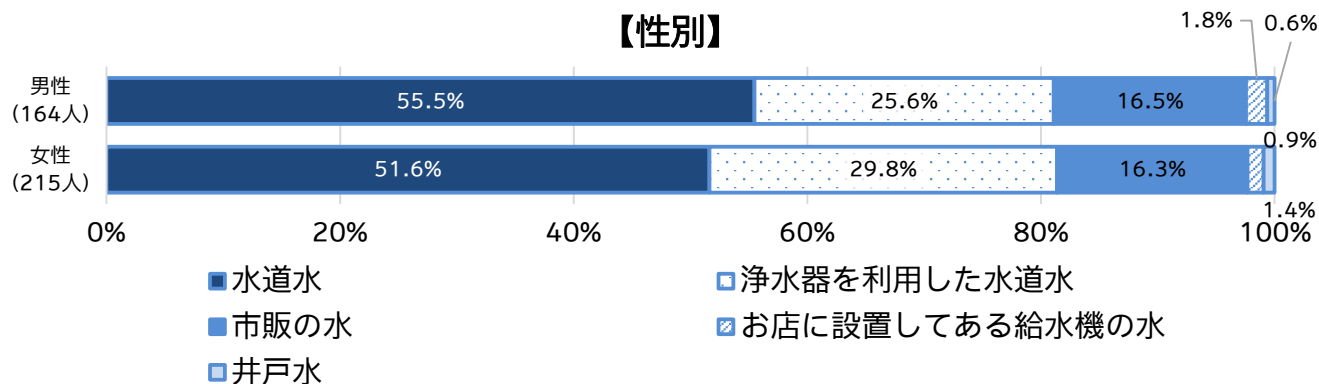
（回答者：380人）



【年代別】



【性別】

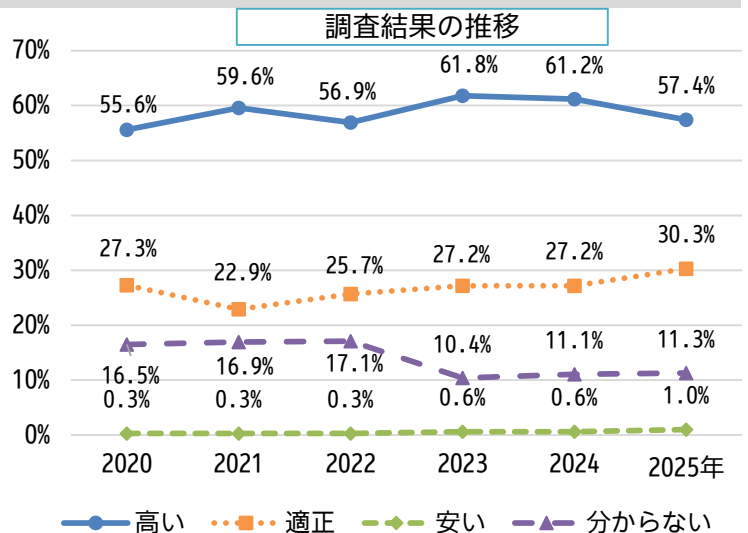
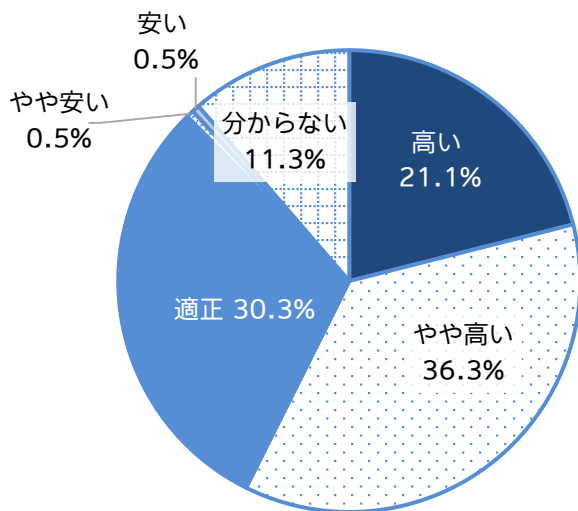


家庭における主な飲み水について、「水道水」、「浄水器を利用した水道水」を選択した方が、全体の81.1%と最も多く、約8割の方が水道水を主な飲み水としている。
近年の推移では「水道水」の割合が年々増加しており、水質検査結果の公表等の取り組みにより水道水の割合が増加したと考えられる。

第2章 料金等について

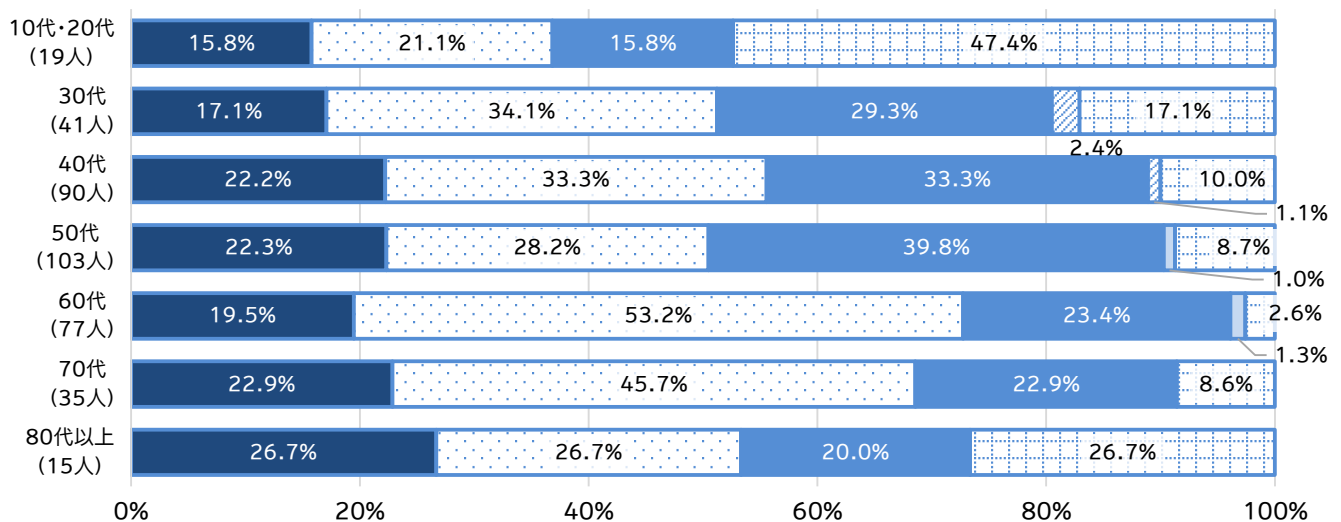
問5 郡山市の水道料金について、どのように感じますか？（1つ選択）

（回答者：380人）

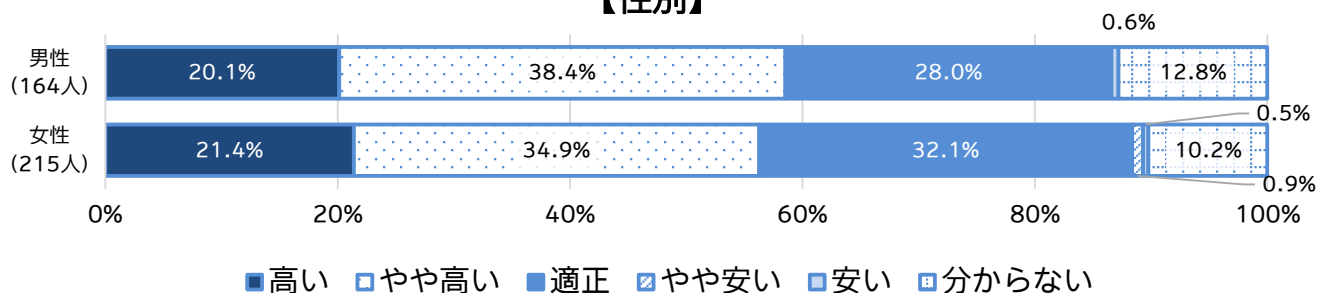


※高い…高い、やや高い合算
安い…安い、やや安い合算

【年代別】



【性別】



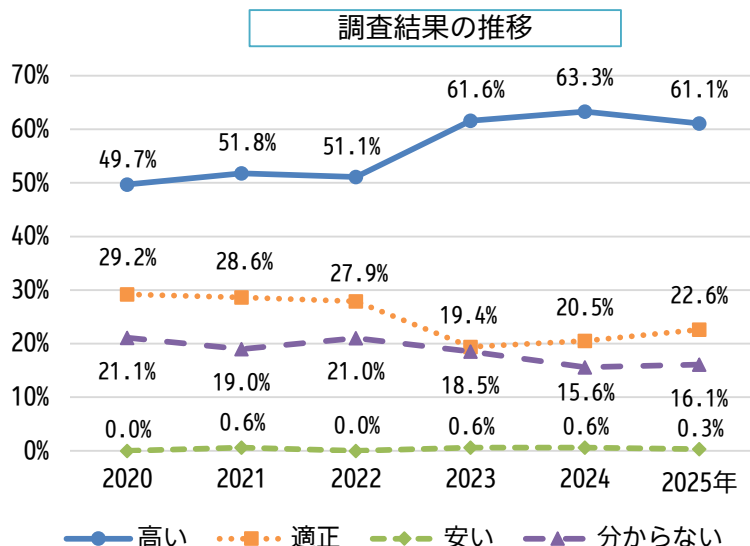
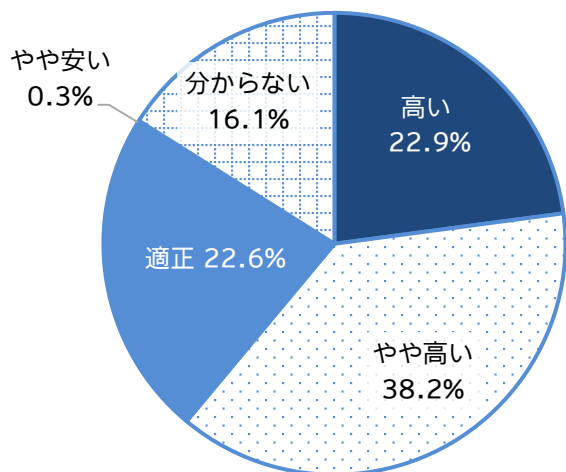
■高い ■やや高い ■適正 ■やや安い ■安い ■分らない

水道料金について、「高い」、「やや高い」の割合は全体の57.4%で、「適正」、「やや安い」、「安い」と回答した方の割合は31.3%であった。「高い」、「やや高い」と回答した方を年代別にみると、60代（72.7%）、70代（68.6%）、40代（55.5%）の順となり、半数以上が水道料金を「高い」「やや高い」と回答している。

近年の推移では「適正」の割合が増加しているが、引き続き料金の算定方法や使い道について広く周知していく必要がある。

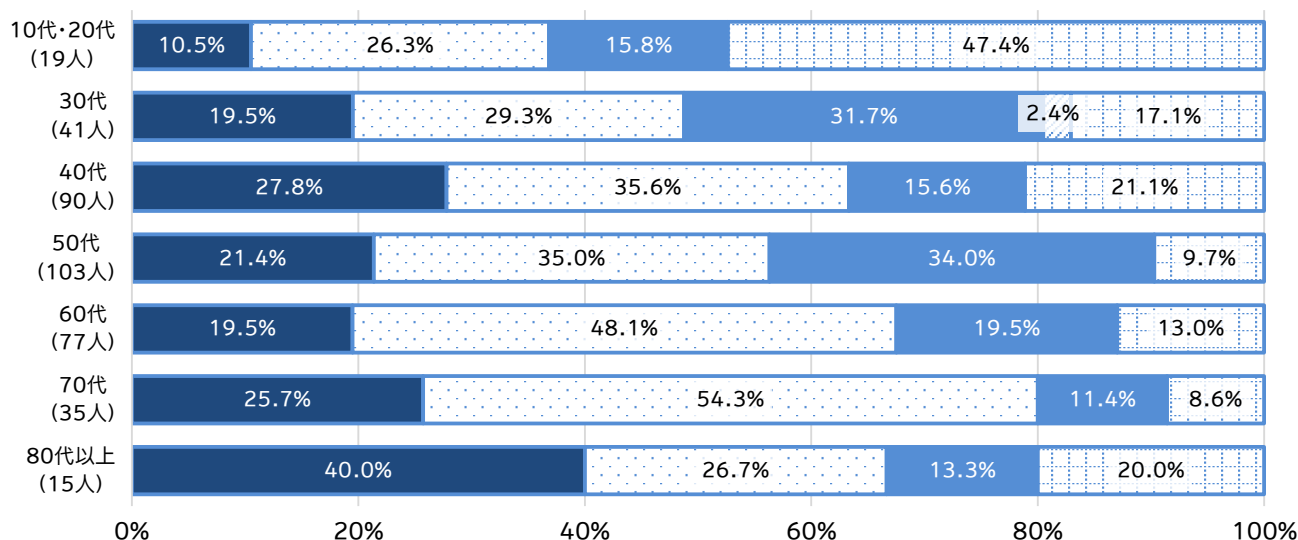
問6 郡山市の下水道使用料について、どのように感じますか？（1つ選択）

（回答者：380人）

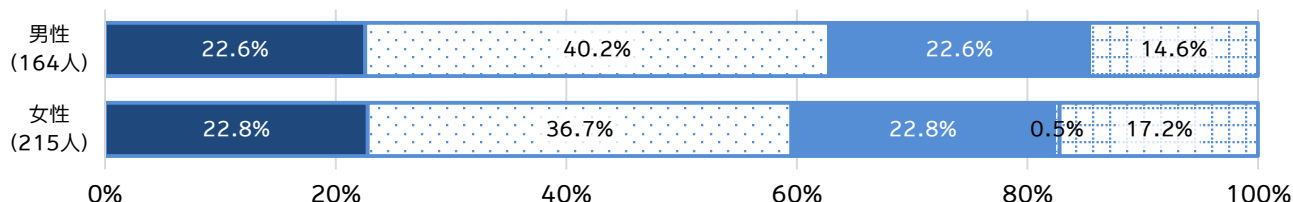


【年代別】

※高い…高い、やや高い合算
安い…安い、やや安い合算



【性別】



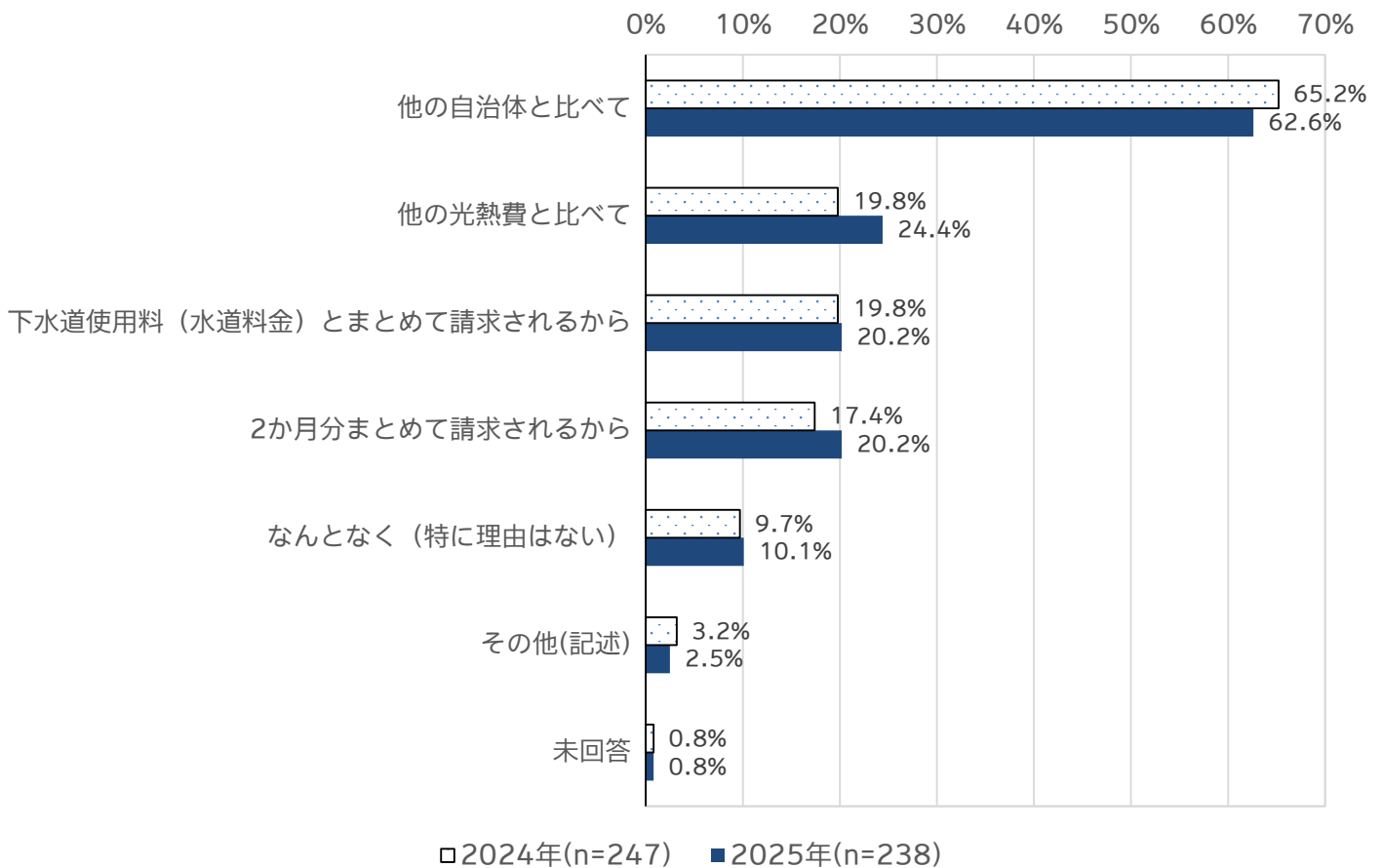
■ 高い □ やや高い ■ 適正 ▨ やや安い ■ 安い ▨ 分からない

下水道使用料について、「高い」「やや高い」の割合は全体の61.1%で、「適正」「やや安い」「安い」と回答した方の割合は22.9%であった。「高い」「やや高い」と回答した方を年代別にみると、70代（80.0%）、60代（67.6%）、80代以上（66.7%）の順となり、高齢層の半数以上が下水道使用料を「高い」「やや高い」と回答している。

近年は「高い」の割合が約6割で推移しているため、使用料の算定方法や使い道について広く周知していく必要がある。

問7 問5及び問6で「高い」「やや高い」を選択した方にお聞きします。高いと思う理由は何ですか？
(複数選択可)

(回答者：238人)

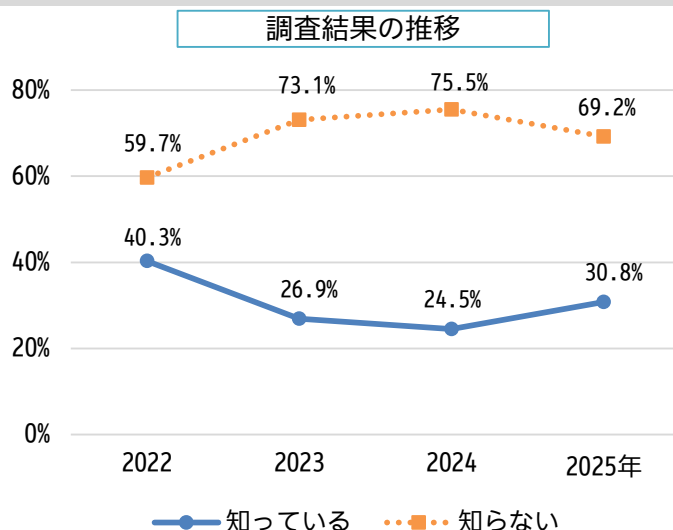
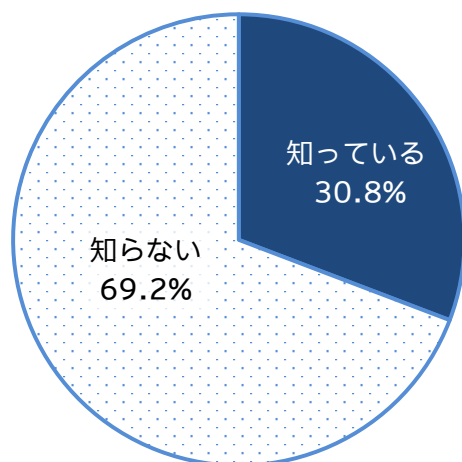


※「その他」を選択した方の主な意見

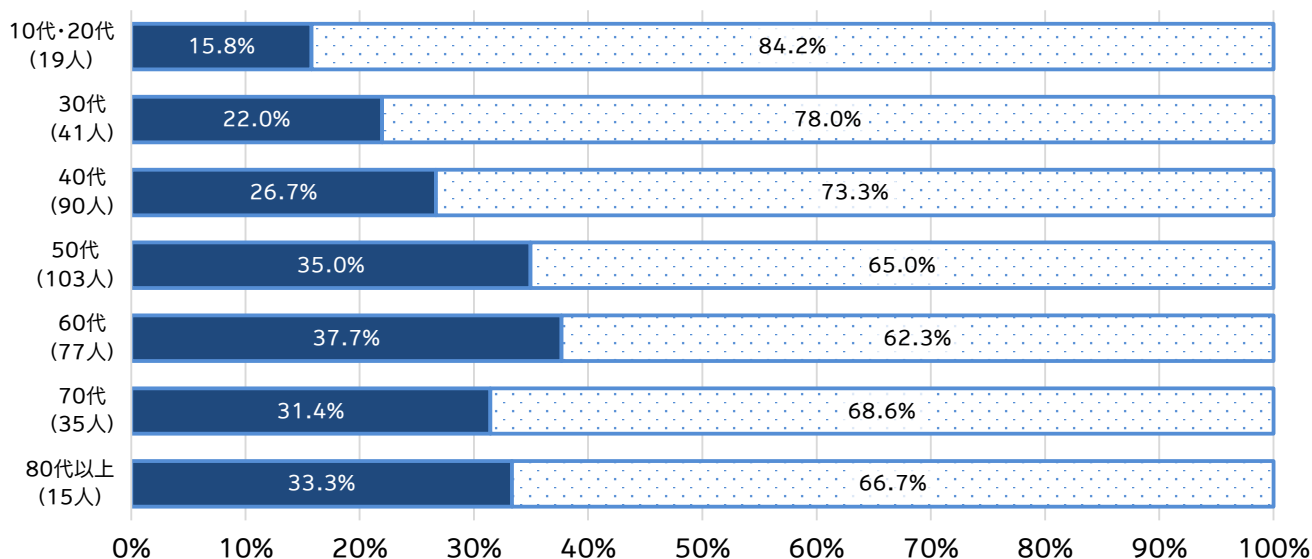
- ・高いですが仕方ないと思います。安くなって品質低下したら困ります。
- ・使用量は変わっていないつもりだが、以前より料金がかかっているように感じる。
- ・使わなくても基本料金が高いから。

水道料金（下水道使用料）が「高い」、「やや高い」と思う理由として、「他の自治体と比べて（62.6%）」の割合が最も高く、次いで「他の光熱費と比べて（24.4%）」、「下水道使用料（水道料金）とまとめて請求されるから（20.2%）」、「2か月分まとめて請求されるから（20.2%）」の順となっており、他自治体との比較のほか、当市の料金の算定方法等について周知を図ることが今後の課題である。

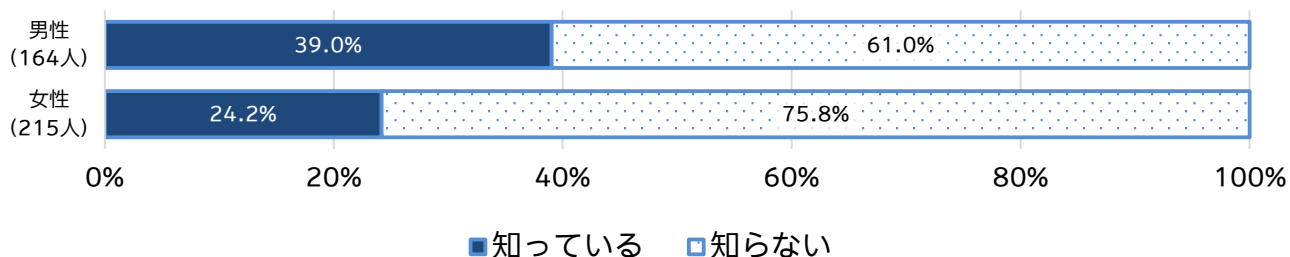
問8 水道施設（浄水場、水道管）の多くが老朽化の進行により更新時期を迎えています。現在の水道料金収入の約半分（約35億円）は水道施設の更新に使われていることをご存知ですか？（1つ選択）（回答者：380人）



【年代別】



【性別】



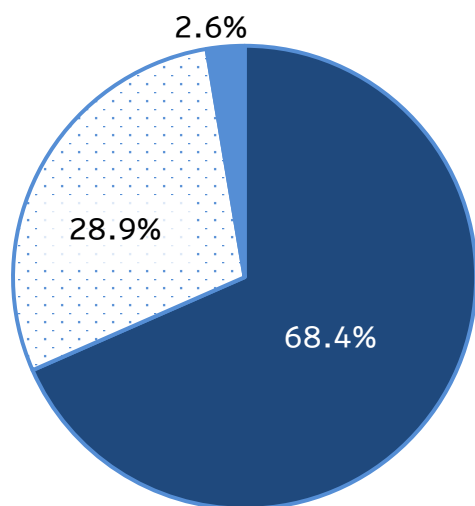
全体でみると「知っている」と回答した方の割合が30.8%、「知らない」と回答した方の割合が69.2%であった。

年代別では50代以上の方は3割以上の方が「知っている」と回答したが、40代以下は年代が下がるにつれて「知っている」の割合が減っていく傾向にある。

男女別では、「知っている」と回答した方は、女性に比べ男性の方が14.8ポイント高くなっている。

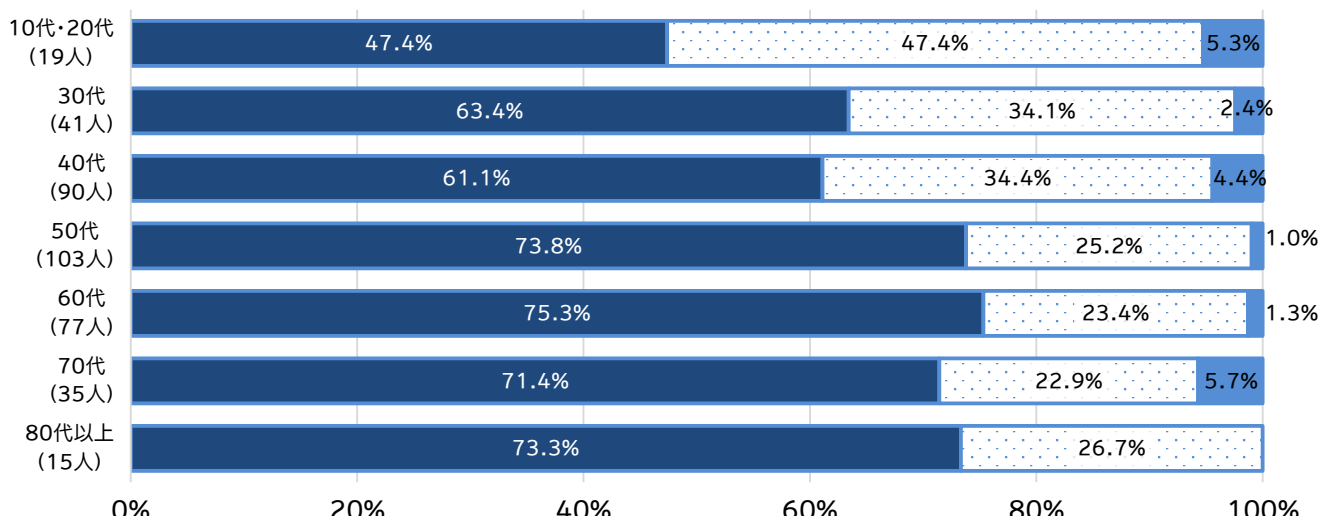
昨年度と比べると「知っている」と回答した割合が6.3ポイント増加しているが、引き続き水道料金の使い道について周知していく必要がある。

問9 老朽化した水道施設の更新に多額の費用が必要となりますが、今後の水道料金についてどう考えますか？（1つ選択）
（回答者：380人）

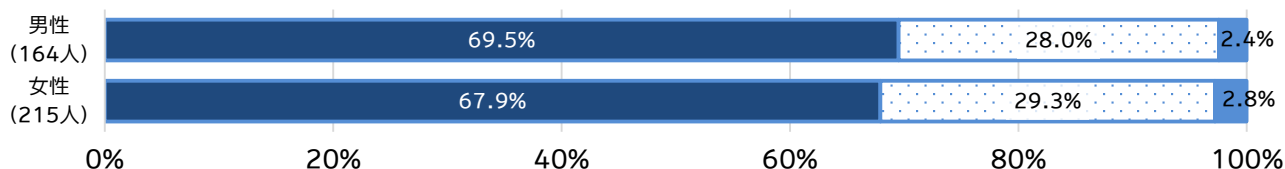


- 老朽化した水道施設の更新のためには、値上げはやむを得ない（漏水事故等の発生リスクが低くなる）
- 老朽化した水道施設の更新は抑えて、料金は現状維持すべき（ある程度、漏水事故等の発生リスクを抱えることになる）
- 老朽化した水道施設の更新よりも、値下げを優先してほしい（漏水事故等の発生リスクが大きくなる）

【年代別】



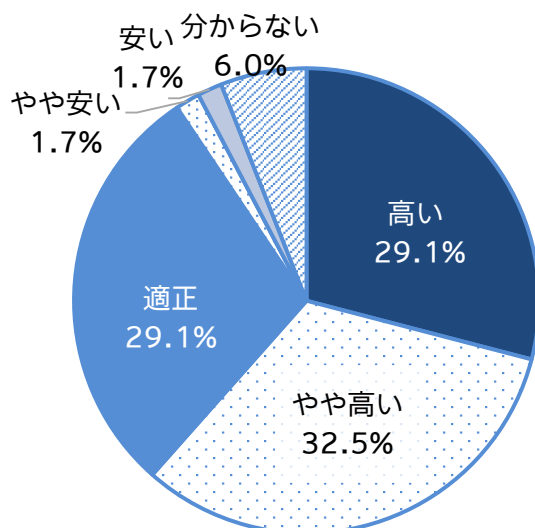
【性別】



- 老朽化した水道施設の更新のためには、値上げはやむを得ない（漏水事故等の発生リスクが低くなる）
- 老朽化した水道施設の更新は抑えて、料金は現状維持すべき（ある程度、漏水事故等の発生リスクを抱えることになる）
- 老朽化した水道施設の更新よりも、値下げを優先してほしい（漏水事故等の発生リスクが大きくなる）

全体的に「老朽化した水道施設の更新のためには、値上げはやむを得ない」と回答した方が68.4%となり、高い数値であった。また、「老朽化した水道施設の更新は抑えて、料金は現状維持すべき」と回答した方が28.9%であった。一方、「老朽化した水道施設の更新よりも、値下げを優先してほしい」と回答した方が2.6%であり、「老朽化した水道施設の更新」を重要視する声が多い結果となった。

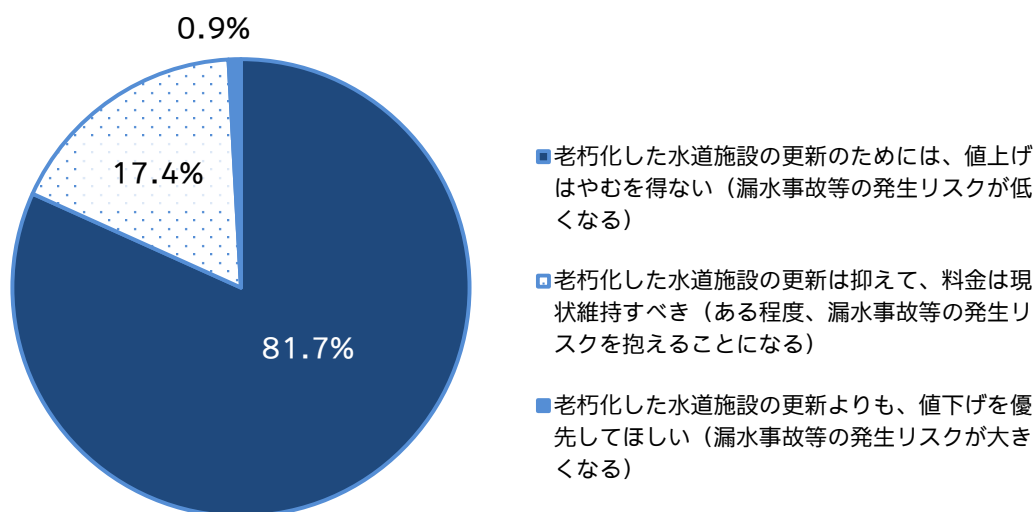
<参考> 問8で水道料金の使い道で「知っている」を選択した方が、問5の水道料金について回答した内訳
(回答者：117人)



問8で水道料金の使い道を「知っている」と回答した方が、問4の水道料金についてどのように感じるか回答した割合について、「高い」「やや高い」の合計は61.6%、「適正」29.1%、「やや安い」「安い」3.4%、「分からない」6.0%であった。

水道料金の用途を知っている方の中でも「高い」「やや高い」と回答した方が約6割と高い数値であることから、今後は水道料金が「高い」というイメージをより具体的に調査したり、一層市民の皆さまに情報発信していく必要がある。

<参考> 問5で水道料金について、「適正」を選択した方のうち問9に回答した内訳
(回答者：115人)



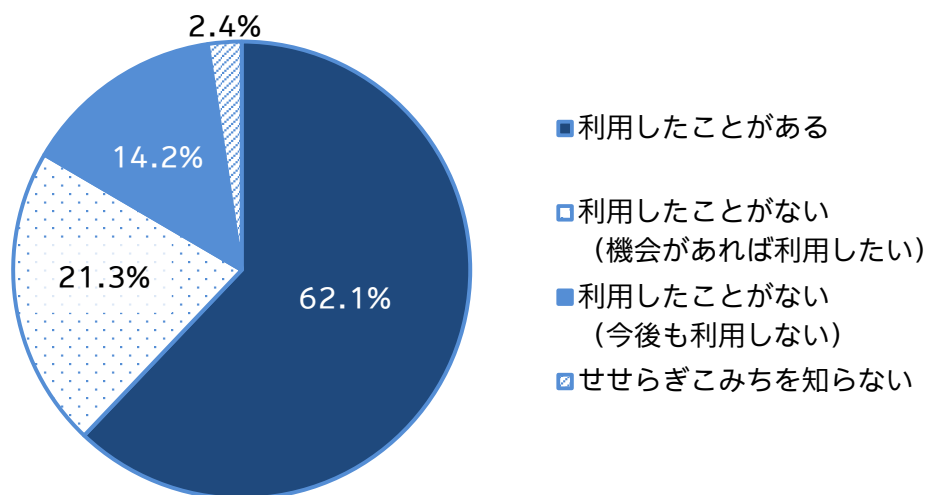
問5で水道料金について「適正」と回答した方のうち、問9で水道料金について回答した内容について、「老朽化した水道施設の更新のためには、値上げはやむを得ない」と回答した方は81.7%と高い数値であった。

第3章 せせらぎこみちについて

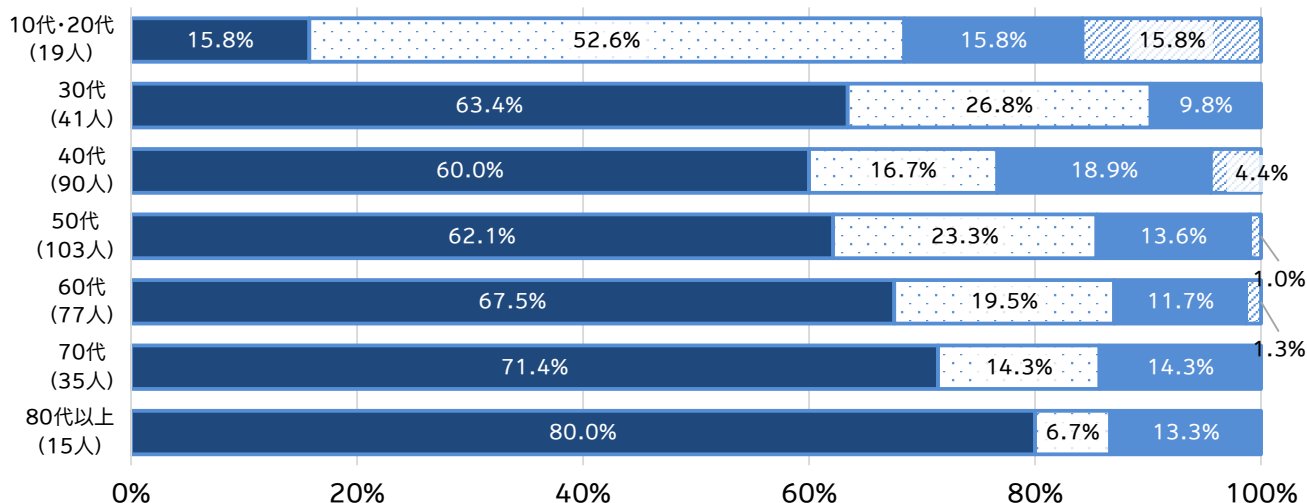
問10 整備された雨水排水路の上部に、遊歩道やせせらぎ水路、植樹帯などを整備した「せせらぎこみち（※）」の利用についてお伺いします。（1つ選択）

※市内に4か所せせらぎこみちが整備されています。（西ノ内、若葉町、台新、開成）

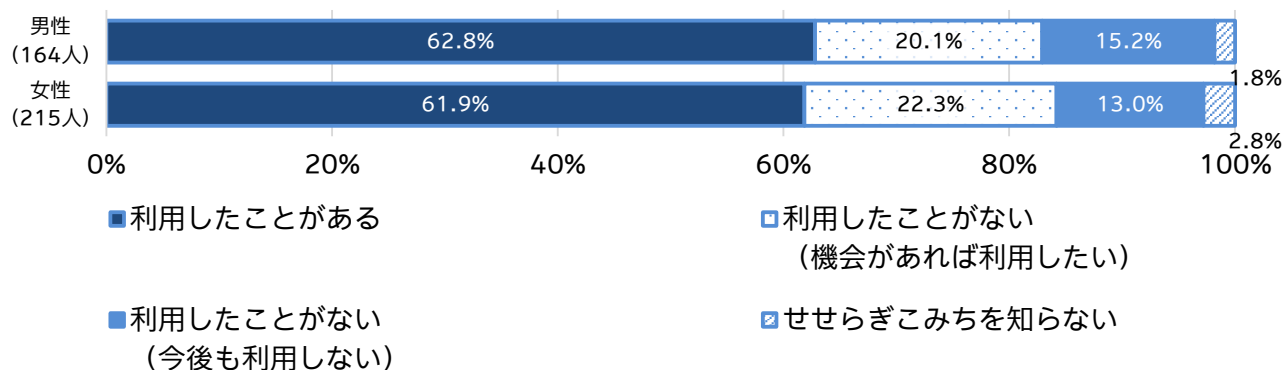
（回答者：380人）



【年代別】



【性別】

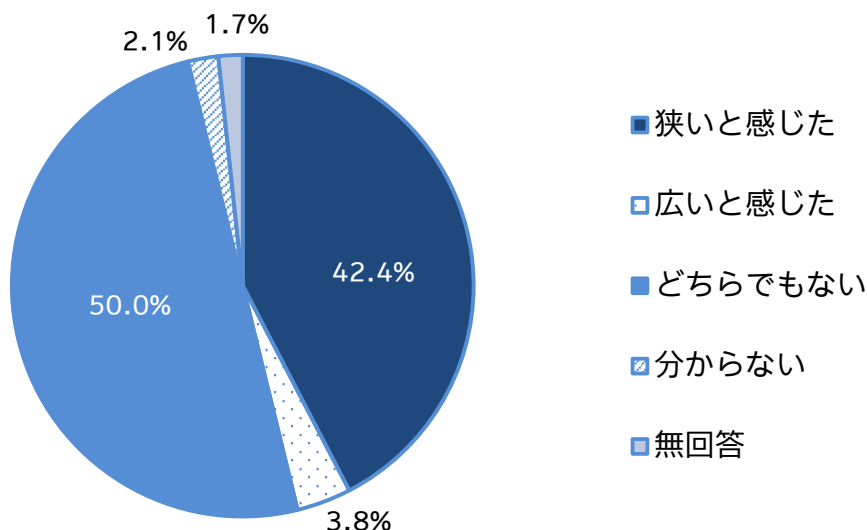


せせらぎこみちについて、「利用したことがある」と回答した方は62.1%、「利用したことがない」、「知らない」と回答した方は37.9%であった。

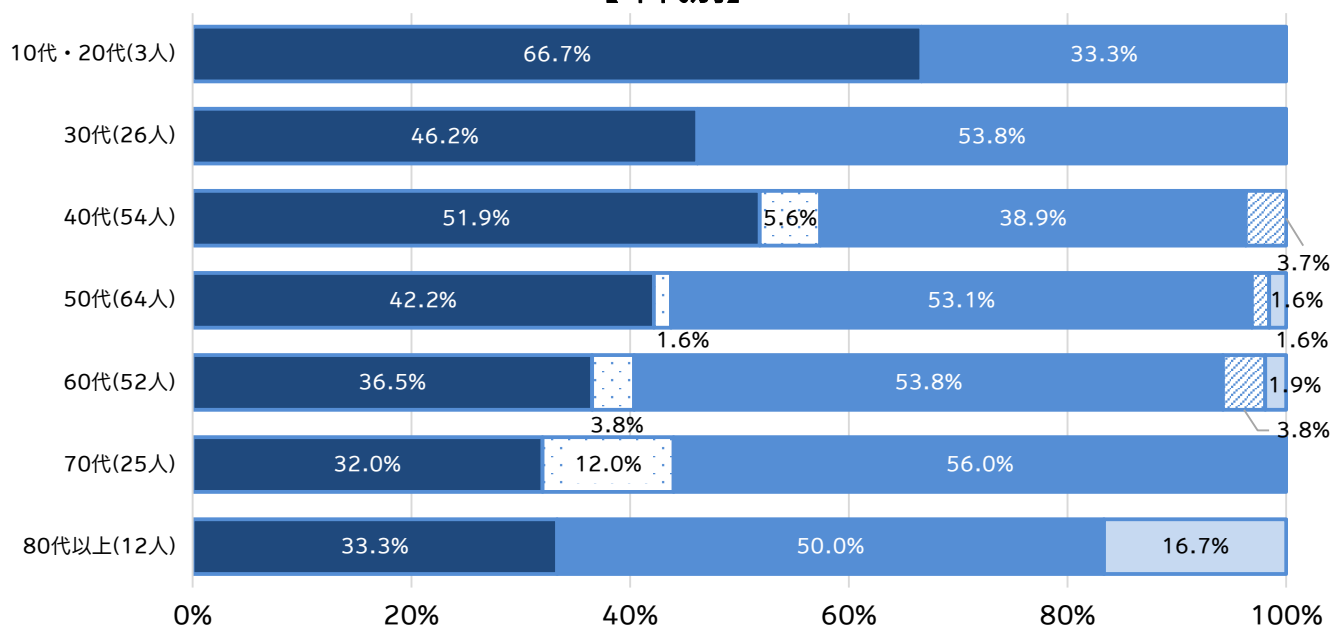
年代別では10代・20代を除き60%以上が「利用したことがある」と回答している。

男女別では、男女ともに「利用したことがある」の割合が60%を超えている。

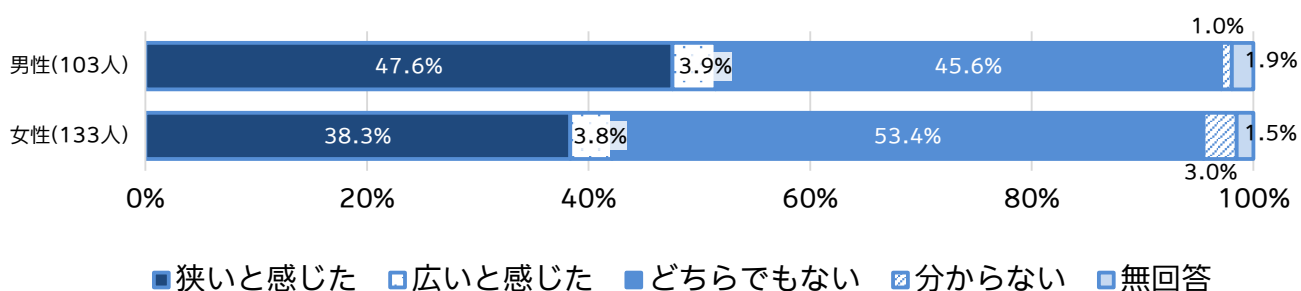
問11 問10で「利用したことがある」を選択した方にお聞きします。「せせらぎこみち」の現在の遊歩道の幅員についてどう感じましたか？（1つ選択）
（回答者：236人）



【年代別】



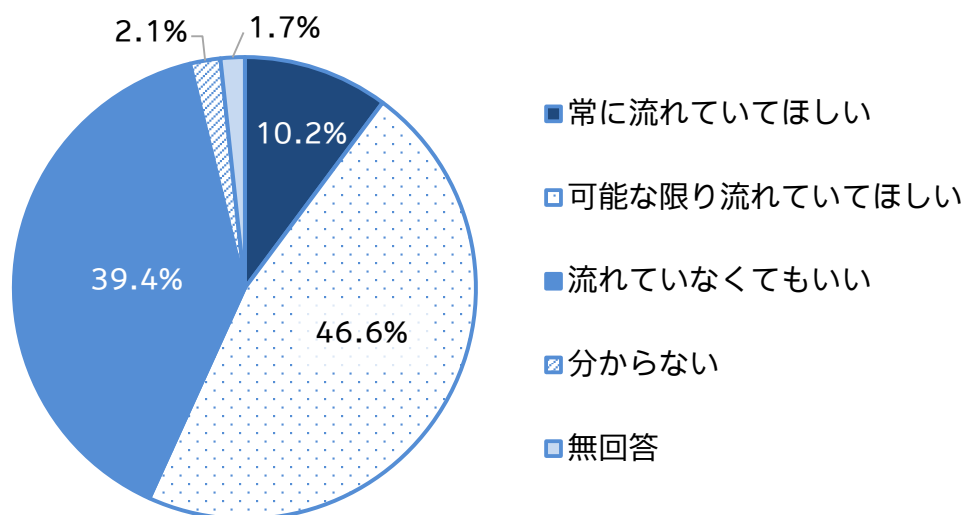
【性別】



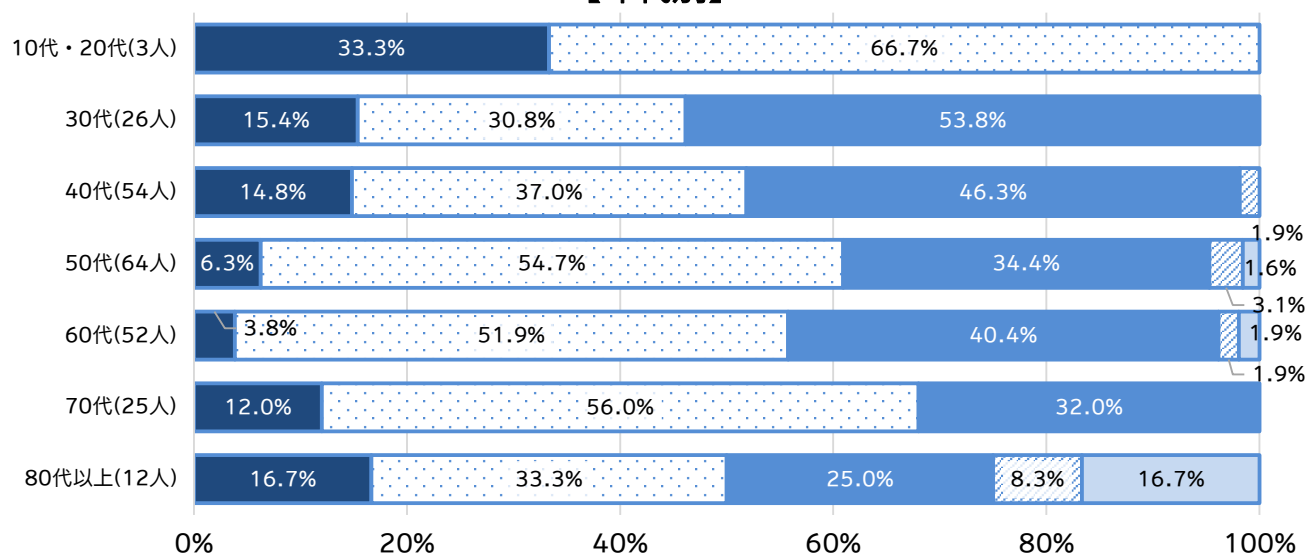
せせらぎこみちの幅員については、「どちらでもない（50.0%）」、「狭いと感じた（42.4%）」、「広いと感じた（3.8%）」、「分からない（2.1%）」という結果であった。

問12 問10で「利用したことがある」を選択した方にお聞きします。せせらぎ水路は、施設管理上、水を流していない期間や時間帯もあります。水が流れていないせせらぎ水路をどう思いますか？
(1つ選択)

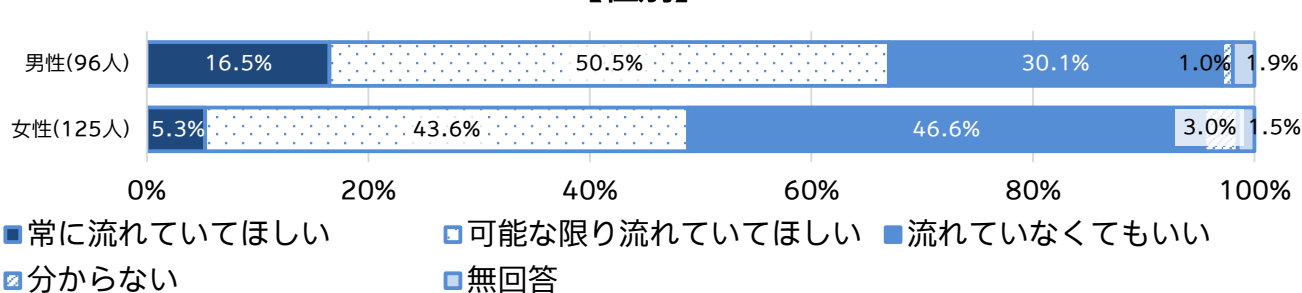
(回答者：236人)



【年代別】



【性別】



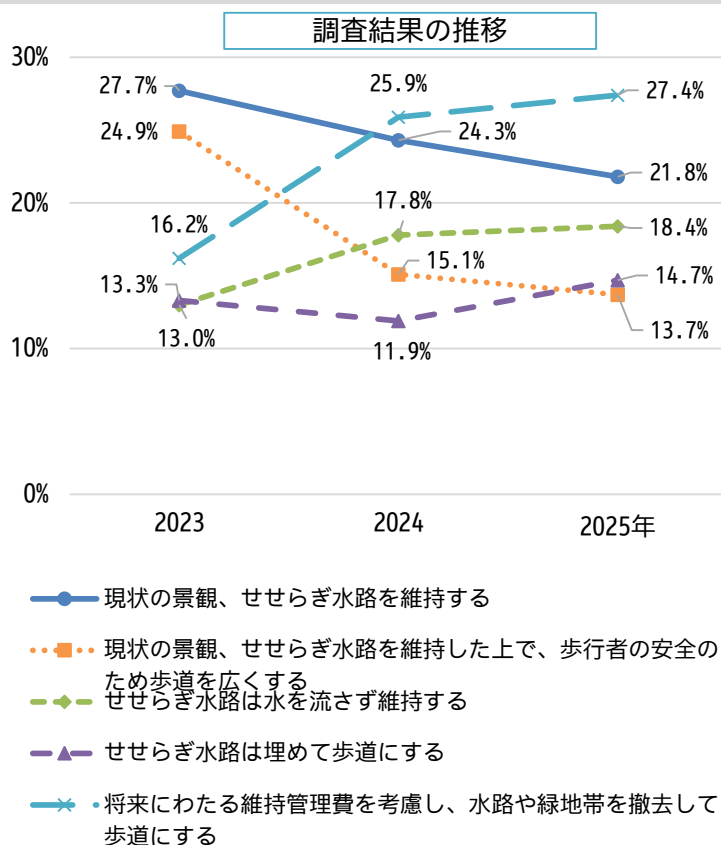
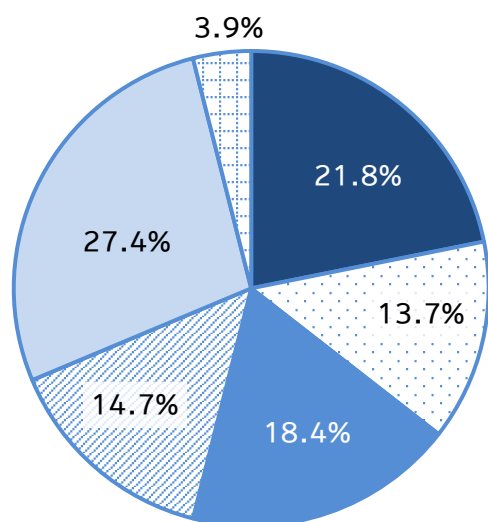
せせらぎ水路について、水が「常に流れていてほしい」「可能な限り流れていてほしい」と回答した方は56.8%、「流れていなくてもいい」と回答した方は39.4%であった。

年代別では、30代を除き、「常に流れていてほしい」「可能な限り流れていてほしい」を選択する方が半数以上を占めている。

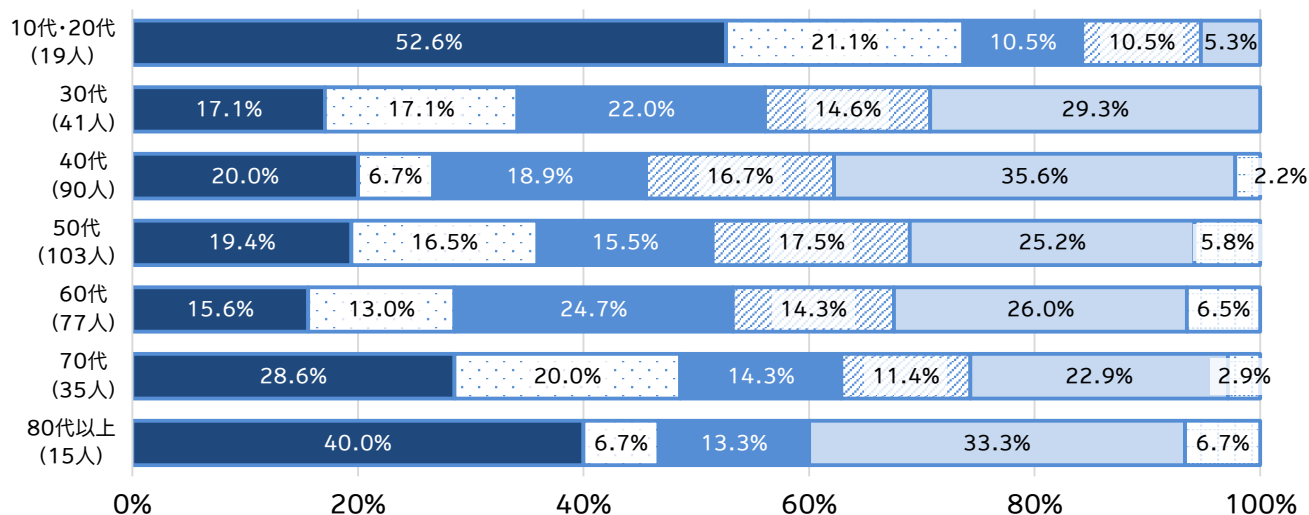
男女別では、「常に流れていてほしい」「可能な限り流れていてほしい」を選択した方は、女性に比べて男性の方が18.1ポイント高くなっている。

問13 セセラギ水路には維持費がかかっており、今後はさらに浄化施設等の更新にも多額の事業費（税金）が必要になります。「セセラギこみち」の今後の在り方についてどう思いますか？
（1つ選択）

（回答者：380人）

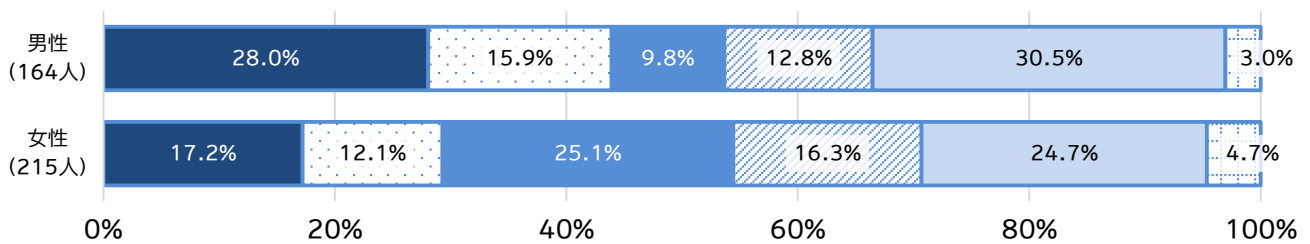


【年代別】



- 現状の景観、セセラギ水路を維持する
- 現状の景観、セセラギ水路を維持した上で、歩行者の安全のため歩道を広げる
- セセラギ水路は水を流さず維持する
- ▣ セセラギ水路は埋めて歩道にする
- 将来にわたる維持管理費を考慮し、水路や緑地帯を撤去して歩道にする
- その他

【性別】



- 現状の景観、せせらぎ水路を維持する
- 現状の景観、せせらぎ水路を維持した上で、歩行者の安全のため歩道を広げる
- せせらぎ水路は水を流さず維持する
- せせらぎ水路は埋めて歩道にする
- 将来にわたる維持管理費を考慮し、水路や緑地帯を撤去して歩道にする
- その他

※「その他」を選択した方の主な意見

- ・水路があっても淤んでいるとあまり気持ちが良いくないので、流れない水路よりは埋め立てて、植栽などで景観を保ち、散歩道にしても良いのかもしれない。
- ・自転車に乗って通る人が良くいるので幅は取って今まで通りで入り口にポールを置いてほしい。水は流さない時期があっても良い。
- ・近所にあるせせらぎ小道はうっそうとしたところにあって散歩をするには気持ち悪くて無理だし、道路にしたところで通る人はいないと思うのでただ無くしてしまっても良いと思います。できるだけ管理費がかからないように。
- ・例えば、木の葉などを取り除く労賃が大変なのであれば、せせらぎ小路に隣接する住民の協力を得るなど、市民参加を促す。等々。
- ・使用頻度の少ない小道は維持しなくても良いと思う。使用頻度の多い場所だけは水路維持してほしい。
- ・春から秋の7時から18時に水を流し、冬は水を止める。植栽は、維持が大変ならやめる。町内や隣接個人の負担でいいなら任せる。
- ・せせらぎ水路は底が浅い開渠と下水を流す暗渠に分かれていて、下水を一見きれいに見せるために底を浅くしている。これはいわば市民をだましていることになる。下水の水路の現状を見せるために、もとの小河川の状態に戻し、その小河川をいかにきれいにしていくかを市民とともに考える材料にしたらいと思う。
- ・埋めずに歩道にする。樹木は町内会で管理する。

全体としてせせらぎ水路の維持管理について、「将来にわたる維持管理費を考慮し、水路や緑地帯を撤去して歩道にする（27.4%）」が最も多く、次いで「現状の景観、せせらぎ水路を維持する（21.8%）」、「せせらぎ水路は水を流さず維持する（18.4%）」であった。

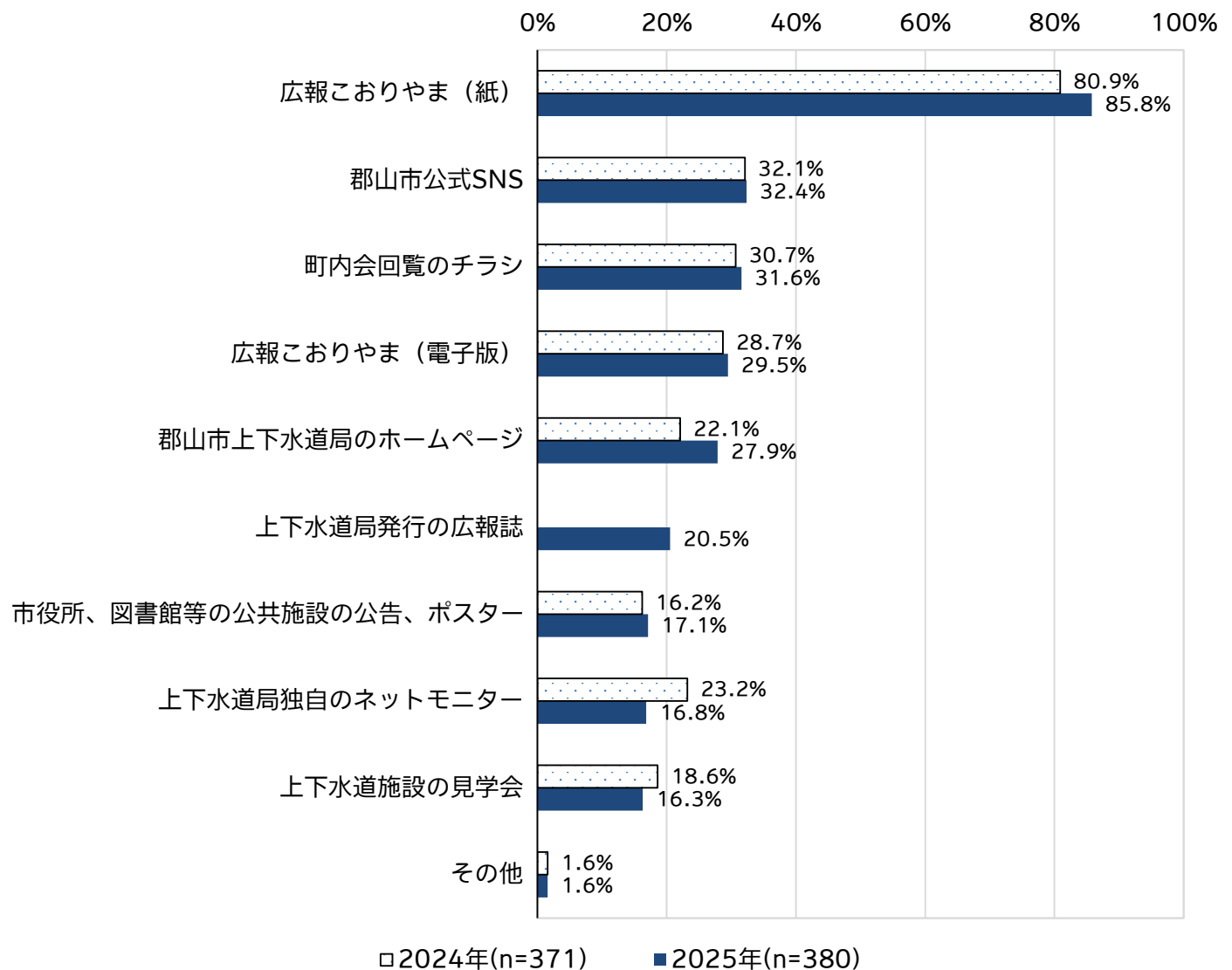
近年の推移では、「将来にわたる維持管理費を考慮し、水路や緑地帯を撤去して歩道にする」の割合が2023年から11.2ポイント高く、「せせらぎ水路は埋めて歩道にする」の割合が1.4ポイント高くなっており、歩道にすることを望む方が増加傾向にある。

せせらぎ水路について「水を流さない」は「歩道にする」と併せて、全体の60.5%であることから見て、今後の維持管理について検討する必要がある。

男女別では、「せせらぎ水路は水を流さず維持する」を選択した方は、男性に比べ女性の方が15.3ポイント高くなっている。

第4章 上下水道事業の情報発信について

問14 水道事業及び下水道事業（以下「上下水道事業」という。）の情報について、受け取りやすく親しみやすいお知らせの方法として、望ましいと思うものを選択してください。（複数選択可）（回答者：380人）



※ 「その他」を選択した方の主な意見

- ・新聞広告
- ・水と緑の街をテーマにしたフェスティバルの開催
- ・猪苗代湖の親子による清掃活動参加呼びかけなど、色々試みられており素晴らしいと思います。14歳までの社会勉強が大切だと思いますので、より一層の充実が大切だと思います。

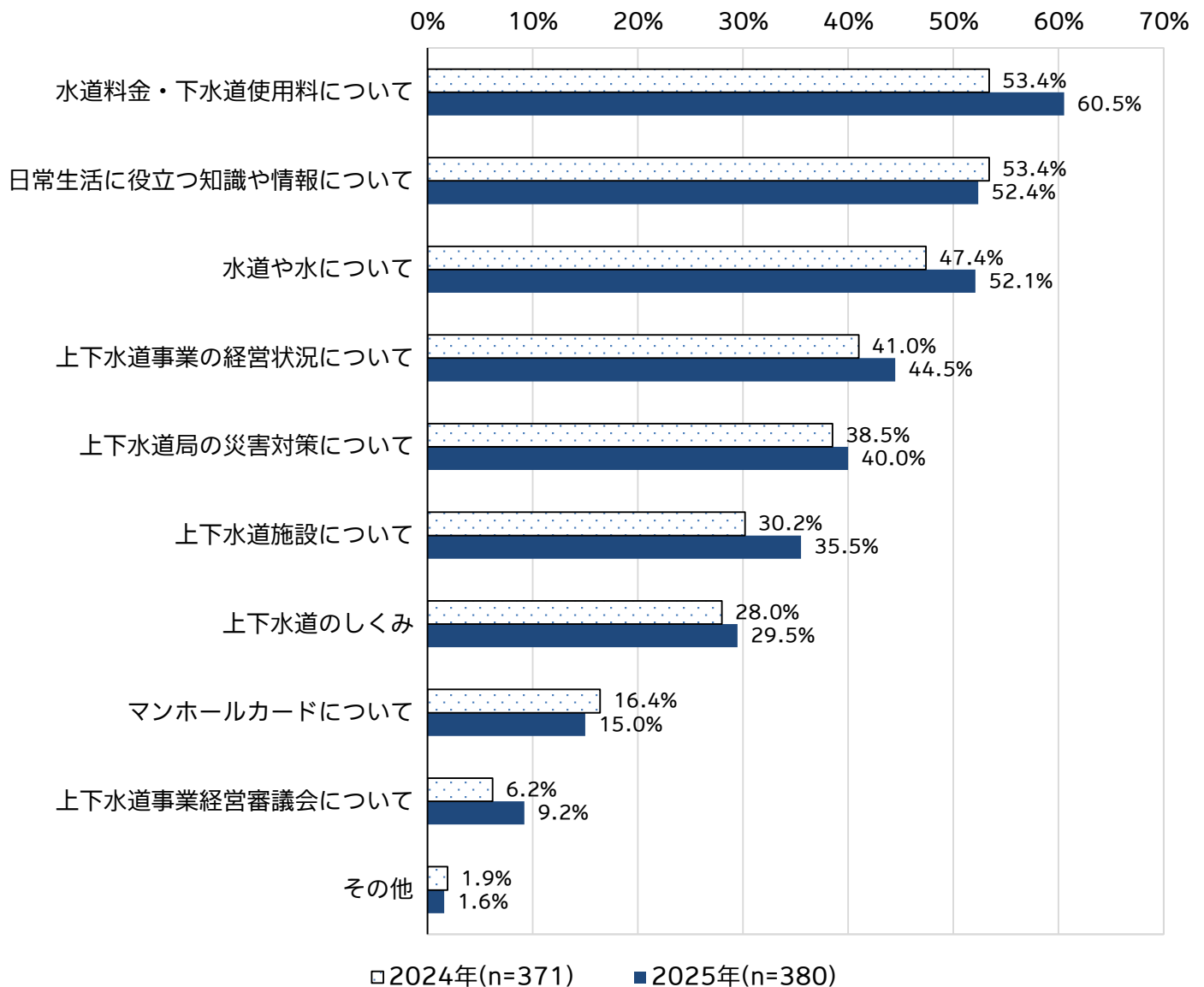
「広報こおりやま（紙）（85.8%）」が最も多く、次いで、「郡山市公式SNS（32.4%）」、「町内会回覧のチラシ（31.6%）」であった。

「広報こおりやま（紙）（85.8%）」を選択した方が前年より4.9ポイント増え、多くの方が受け取りやすく親しみやすい媒体と感じていることが分かる。

問15 問14で選択されたもの又は方法に、掲載してほしい内容、知りたい情報を選択してください。

(複数選択可)

(回答者：380人)



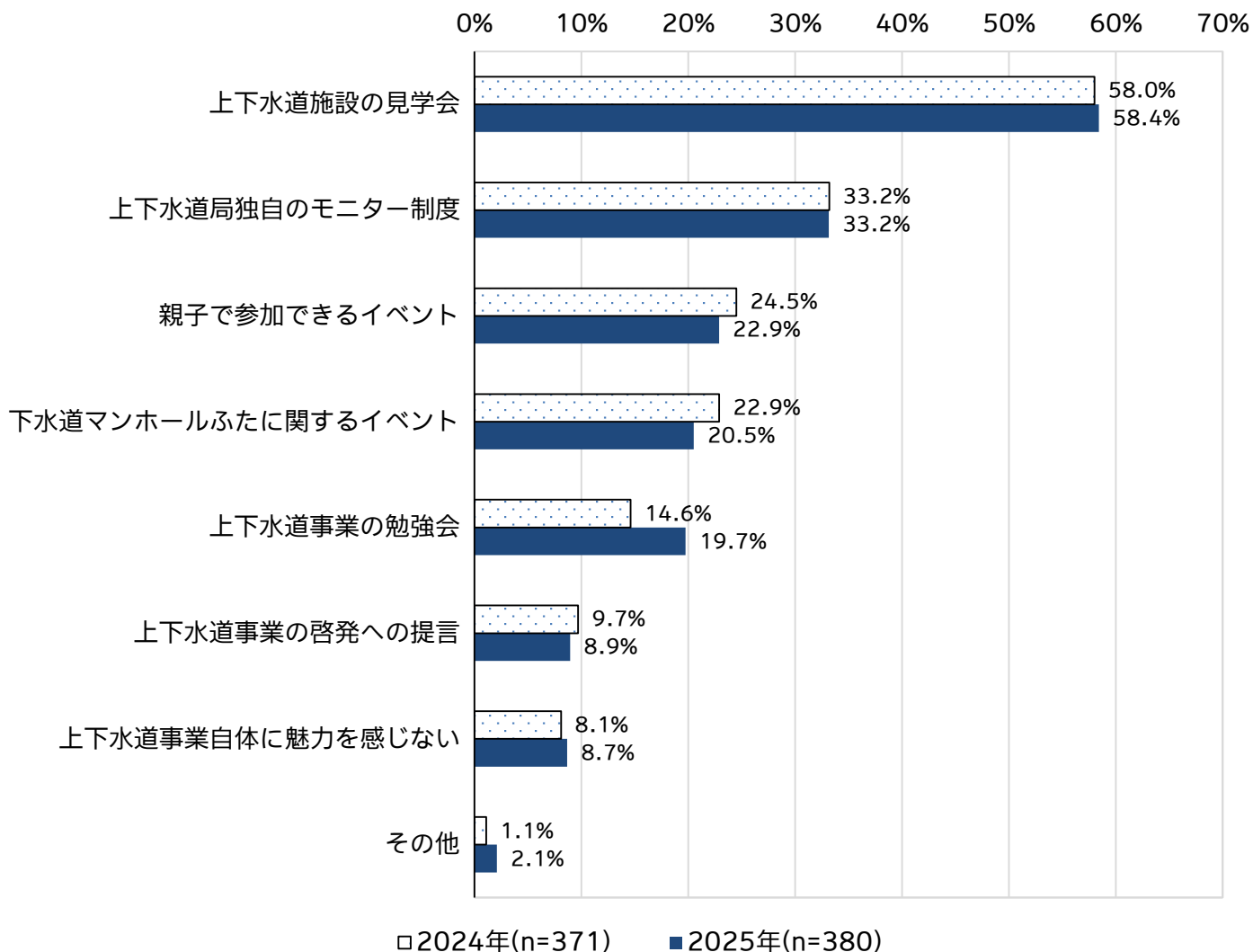
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・他自治体の好事例
- ・災害対策の広報
- ・老朽化した水道施設、漏水事故等の発生リスクがありそうな地区など、経費とか情報載せてください。
- ・所属する正規職員数とその人件費
- ・水の節約情報について

「水道料金・下水道使用料について (60.5%)」が最も多く、次いで、「日常生活に役立つ知識や情報について (52.4%)」、「水道や水について (52.1%)」、「上下水道事業の経営状況について (44.5%)」となっている。

問16 上下水道事業について、次のうち積極的に参加したいと思うものを選択して下さい。
(複数選択可)

(回答者：380人)



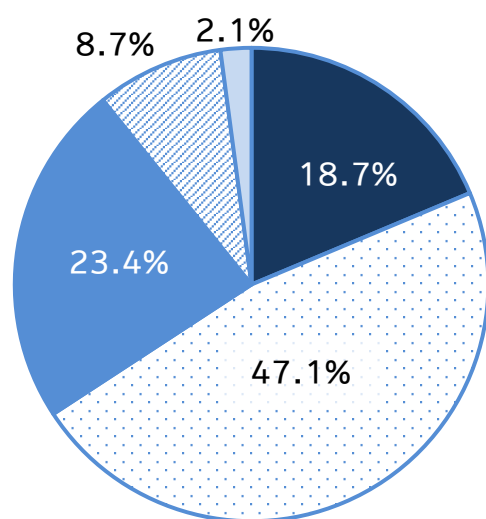
※「その他」を選択した方の主な意見

- ・当市における治水事業の歴史や現代の取り組みなどわかりやすく展示する。
- ・インフルエンサーを呼んでの地域説明会
- ・上下水道は大切なものであることを次世代にしっかりと伝えていくだけで十分かと思います。
- ・東京都のほうではスマホアプリを利用して、マンホールの位置や管理状況をゲーム感覚で探し当てるイベントを行って、維持管理費の一部を節約したりしている。老若男女スマホは欠かせなくなっている時代なのだから、そういう情報機器をうまく活用して、できるかぎり維持管理費用を抑えるべき。
- ・水道管の入れ替え工事を見学できる機会があると、働く車に興味を持っている子どもと一緒に保護者が参加したり、その様子をTVで流すと、「水道管をこのままにしておくと、いざという時のライフラインがなくなるんだな」と市民に危機感を覚えてもらえて、良いと思います。

「上下水道施設の見学会（58.4%）」が最も多く、次いで、「上下水道局独自のモニター制度（33.2%）」、「親子で参加できるイベント（22.9%）」となっており、直接参加型のイベントへの関心が高いことが分かる。

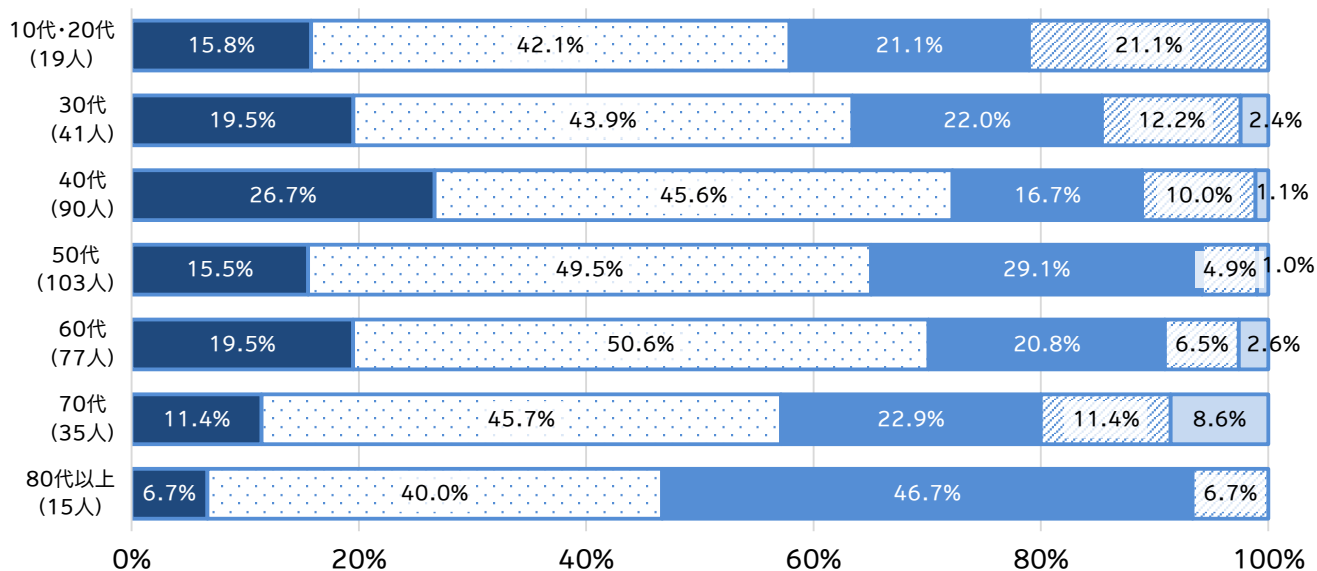
第5章 上下水道事業について

問17 上下水道事業の運営に民間のノウハウや資金を活用する手法として、上下水道事業の運営を民間企業に委ねる自治体が全国にはありますが、どのように感じますか？（1つ選択）（回答者：380人）



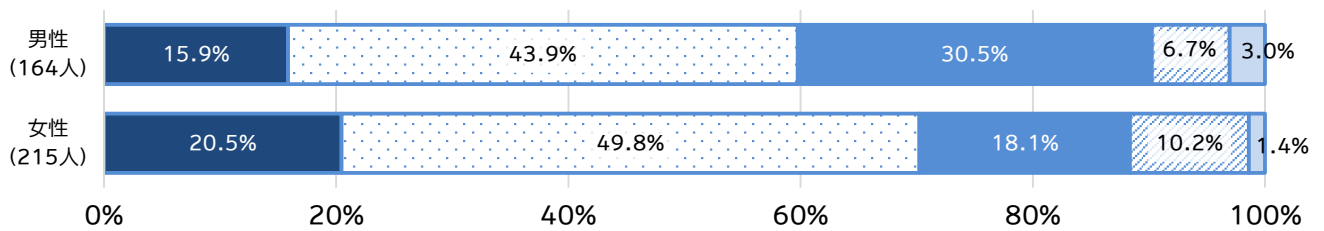
- コスト削減や上下水道局職員の人材不足の解消になるのであれば、民営化を進めるべき
- 民営化を進めるにあたっては、メリットやデメリットの十分な検証が必要だと思う
- 海外での水道事業民営化の事例（水道料金高騰や水質悪化）をみると、民営化は進めるべきではない
- 分からない
- その他

【年代別】



- コスト削減や上下水道局職員の人材不足の解消になるのであれば、民営化を進めるべき
- 民営化を進めるにあたっては、メリットやデメリットの十分な検証が必要だと思う
- 海外での水道事業民営化の事例（水道料金高騰や水質悪化）をみると、民営化は進めるべきではない
- 分からない
- その他

【性別】



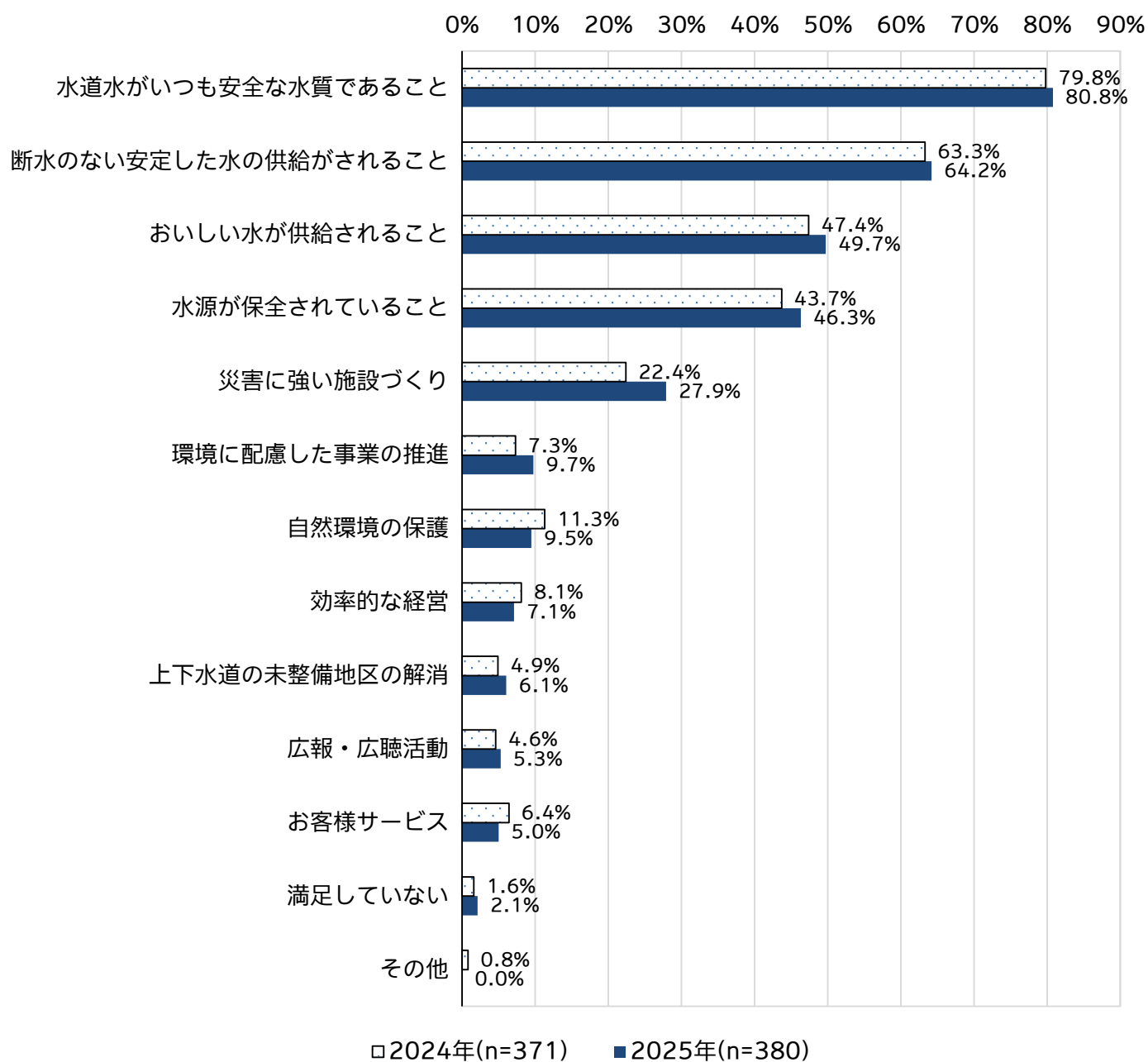
- コスト削減や上下水道局職員の人材不足の解消になるのであれば、民営化を進めるべき
- 民営化を進めるにあたっては、メリットやデメリットの十分な検証が必要だと思う
- 海外での水道事業民営化の事例（水道料金高騰や水質悪化）をみると、民営化は進めるべきではない
- ☒ 分からない
- その他

上下水道事業の民営化について、「十分な検証が必要」と回答した方は47.1%、「民営化は進めるべきではない」と回答した方は23.4%、「進めるべき」と回答した方は18.7%であった。

年代別では、どの年代でも4割以上の方が「十分な検証が必要」と回答している。

男女別では、「海外での水道事業民営化の事例（水道料金高騰や水質悪化）をみると、民営化は進めるべきではない」と回答した方は、女性に比べ男性の方が12.4ポイント高くなっている。

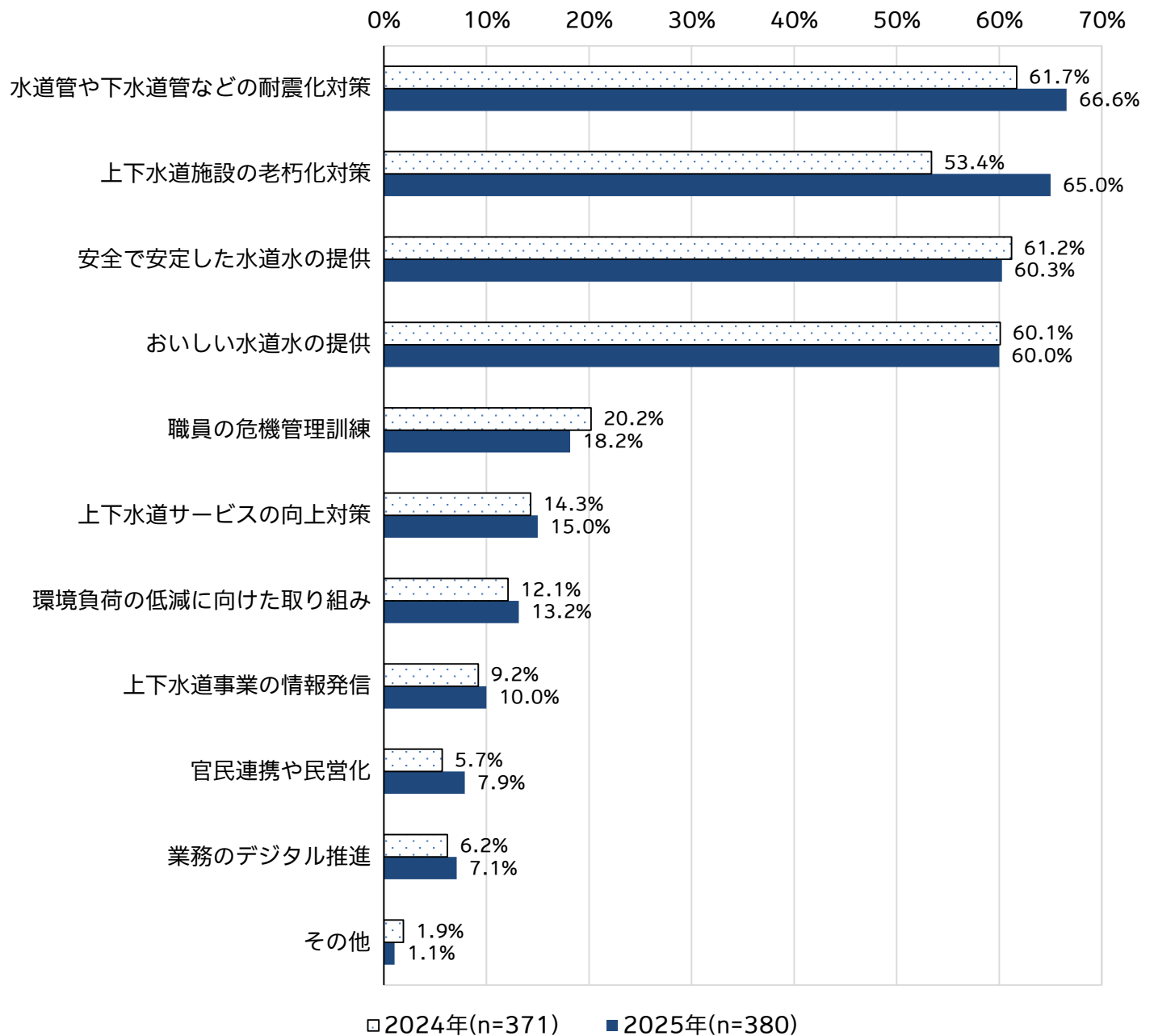
問18 上下水道局の取り組みについて、満足しているものを選択して下さい。（複数選択可）（回答者：380人）



「水道水がいつも安全な水質であること（80.8%）」が最も多く、次いで「断水のない安定した水の供給がされること（64.2%）」、「おいしい水が供給されること（49.7%）」となっており、水道水の供給に関して満足度が高いことが分かる。

問19 上下水道局として、今後優先的に実施すべき取り組みは何だと考えますか。
(複数選択可)

(回答者：380人)



※「その他」を選択した方の主な意見

- ・他自治体の好事例を参考にした取り組み
- ・外部委託先への検査観察の実施
- ・低コスト

「地震などの災害に強い水道管や下水道管などの耐震化対策（66.6%）」が最も多く、次いで「上下水道施設の老朽化対策（65.0%）」「安全で安定した水道水の提供（60.3%）」となっており、上下水道施設の対策や水道水の供給に関する要望が高いことが分かる。

問20 その他、水道、下水道についてご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。

(回答者：74人)

○ 水道水について

- ・私の住んでいる場所は水源が猪苗代湖です、猪苗代湖の管理をさらに重視してください。（80代・男性）
- ・地震後は、水道水へ不安があるため、基本的には浄水器を通して飲んでいますが、老朽化への費用は仕方ないが、無駄を省き、コストダウンにも力をいれてほしい。（50代・女性）
- ・水の安全性を疑われるようなニュースが多くありました。そのようなニュースがあった場合には、広報紙などを通じて、いち早く市の水道について安全性を発信していただきたいと思います。大変なお仕事だと思いますがよろしくお願いいたします。（60代・女性）
- ・とにかく郡山市の水は高い、支払いも2か月一括支払いで年金生活者には奇数月末の支払いは大変。支払い日に余裕を持たせてくださるのはありがたい事です、年金生活者には料金が高すぎる。（70代・女性）

○ 上下水道事業の民営化について

- ・民営化は絶対反対！行政で経営できないものが何故民営化できる？？インフラは民営化すべきでは無い。（50代・男性）
- ・上下水道の民間委託や民営化は絶対やるべきでない。もともと「民間」は利益を第一としてるのだし、責任の所在が明確でない。上下水道は、民営が行き詰まり責任者（社長）がやめ、その会社が廃業するといった形で済む事柄ではありません。（70代・女性）
- ・上下水道の民営化は、水質の安全性などを考えると、好ましくないと思う。他の自治体の例をみると、コスト重視が優先されてしまうと、安全性に問題が出てくると思う。（50代・女性）
- ・上下水道の民営化は非常に危険なため（外国資本にライフラインをコントロールされるリスクもあるため）、市民の理解を得ながら、上下水道は公営で続けてほしいと思います。（40代・男性）

○ 上下水道事業の老朽化対策について

- ・水質は安全であるのが一番です。老朽化してなにか問題があれば、大きくなってしまいかもしれないため、この場合コストカットはせず費やすのが得策でしょう。（20代・男性）
- ・水道は出て当たり前の感覚が強いため、料金が低いと感じてしまう。施設の老朽化等で更新費用が必要である旨の情報発信を積極的に行ってもらいたい。（60代・男性）
- ・埼玉県八潮市での道路陥没事故、そして行田市の作業員点検事故中の死亡などから、今まで関心が薄かった下水道の安全性について興味がわいてきた。同様のことが我が市で起こらないように。郡山市の現状、あるいは安全点検の実施状況などについての積極的な情報発信を望んでいます。（60代・女性）
- ・自宅は浄化槽なため、下水道については実感が湧きませんが、老朽化は全国的な問題となっています。多額の費用捻出は難しいかもしれませんが、物価高で生活が苦しくなっていることも事実です。それらを考慮するとせせらぎ小道のような維持管理費がかかる施設の廃止検討はやむを得ないと思います。（40代・男性）

○ その他

- ・水道や上下水道とは直接関連がないかも知れませんが、民間や公共施設での雨水利用や河川を利用した水資源の活用は進めてもらいたい。（50代・男性）
- ・逢瀬町多田野に清水池があります。現在でもコンコンと水が湧き流れています。利用できるなら利用していただきたいです。（50代・女性）
- ・水は生きるために必要不可欠なもの。災害時にいつも痛感します。安全安心であることは必須であり、インフラで最重要事項だと思います。水は命の源。水道管の整備、治水対策はしっかりやってほしいです。（60代・女性）
- ・水道の検針については、DX化のため、電気のようにスマートメーター化してもよいように感じます。（40代・男性）
- ・下水道について、下水道管に接続するにあたり、距離の制限を設けるべきではないかと思います。採算に合う距離があると思うのですが、現在は必ず下水道管に接続しなければならず全く採算を考えていない。合併浄化槽の活用を積極的に考えるべきではないでしょうか。（70代・男性）